

公益目的事業会計 公1

| 4 県民への健康・福祉の増進に関する事業 | | 5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業 | | 7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 | | | 小計 | 6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業 (訪問看護ステーション) | | 小計 | 中計 |
|-------------------------|--------|--|------|-------------------------------|---------|--------|---------|---|--------|---------|---------|
| 保健知識 | 災害救護 | 職能 | 看護制度 | 地区部会 | 広報 | 共通 | | 訪問看護 | 居宅介護 | | |
| 1,001 | 611 | 348 | 345 | 628 | 991 | 4,728 | 17,821 | 2,230 | 809 | 3,039 | 20,860 |
| 2,589 | 2,056 | 899 | 59 | 1,856 | 1,965 | 16,812 | 63,348 | 31,844 | 8,545 | 40,389 | 103,737 |
| 486 | 349 | 169 | 11 | 349 | 370 | 3,156 | 11,880 | 6,776 | 1,818 | 8,594 | 20,474 |
| 200 | 146 | 73 | 20 | 147 | 169 | 1,260 | 4,749 | 566 | 161 | 727 | 5,476 |
| 104 | 72 | 36 | 10 | 73 | 84 | 624 | 2,354 | 11 | 8 | 19 | 2,373 |
| 169 | 119 | 60 | 16 | 120 | 138 | 1,020 | 3,870 | 2,401 | 651 | 3,052 | 6,922 |
| 644 | 456 | 229 | 62 | 459 | 529 | 3,912 | 14,855 | 6,211 | 1,683 | 7,894 | 22,749 |
| 257 | 28 | 1,000 | 5 | 1,810 | 800 | | 4,962 | 251 | 67 | 318 | 5,280 |
| 494 | 176 | 300 | 3 | 993 | 150 | | 6,548 | 971 | 154 | 1,125 | 7,673 |
| 1,815 | 135 | 80 | 36 | 143 | 6 | 2,721 | 12,875 | 1,545 | 414 | 1,959 | 14,834 |
| 15 | 5 | 3 | 1 | 5 | 93 | 100 | 1,580 | | | 0 | 1,580 |
| 332 | 105 | 37 | 10 | 441 | 4 | 1,449 | 8,406 | 441 | 71 | 512 | 8,918 |
| 8 | 4 | 4 | 3 | 5 | | 4 | 406 | 311 | 86 | 397 | 803 |
| 1,329 | 11 | 350 | 1 | 144 | 5,100 | | 17,545 | 241 | 65 | 306 | 17,851 |
| | | | | | | | 0 | 568 | 152 | 720 | 720 |
| 40 | 21 | 19 | 14 | 26 | 20 | 20 | 5,381 | 353 | 104 | 457 | 5,838 |
| 477 | 5 | 104 | 3 | 449 | 4 | 4 | 4,738 | 165 | 46 | 211 | 4,949 |
| 7 | 16 | 3 | 3 | 5 | 4 | 4 | 425 | 817 | 204 | 1,021 | 1,446 |
| 1,016 | 130 | 400 | | 90 | 540 | | 32,943 | | | 0 | 32,943 |
| 38 | 21 | 18 | 14 | 25 | 19 | 20 | 2,199 | 414 | 119 | 533 | 2,732 |
| | | | | | | | 0 | 28 | 7 | 35 | 35 |
| | | | | | | | 0 | 209 | | 209 | 209 |
| 72 | 39 | 34 | 26 | 264 | 1,056 | 37 | 10,609 | 1,299 | 227 | 1,526 | 12,135 |
| | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 |
| 20 | | | | | | | 873 | | | 0 | 873 |
| | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 |
| | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 |
| 1,158 | 418 | 150 | | 4,104 | 200 | | 14,114 | 94 | 25 | 119 | 14,233 |
| 12,271 | 4,923 | 4,316 | 642 | 12,136 | 12,242 | 35,871 | 242,481 | 57,746 | 15,416 | 73,162 | 315,643 |
| △11,078 | △4,922 | △4,315 | △641 | △11,934 | △12,241 | 58,668 | △18,083 | 6,529 | △8,343 | △1,814 | △19,897 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | 0 | 3,500 | | 3,500 | 3,500 |
| △11,078 | △4,922 | △4,315 | △641 | △11,934 | △12,241 | 58,668 | △18,083 | 10,029 | △8,343 | 1,686 | △16,397 |
| | | | | | | | 324,496 | | | △40,574 | 283,922 |
| | | | | | | | 306,413 | | | △38,888 | 267,525 |
| | | | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 |
| | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 |
| | | | | | | | 306,413 | | | △38,888 | 267,525 |

平成27年度 資金調達・設備投資の見込みについて

1) 資金調達の見込みについて

| 借入れの予定 | | <input type="checkbox"/> あ り | <input checked="" type="checkbox"/> な し |
|--------|-----|------------------------------|---|
| 事業番号 | 借入先 | 金 額 | |
| | | 円 | |

2) 設備投資の見込みについて

| 設 備 投 資 の 予 定 | | <input type="checkbox"/> あ り | <input checked="" type="checkbox"/> な し |
|---------------|---------|------------------------------|---|
| 事業番号 | 設備投資の内容 | 支出又は収入の 予定額 | 資金調達方法 又は取得資金の使途 |
| | | | |

理事会報告

会長 星野 恵美子

1. 理事会開催状況

| 回数 | 開催年月日 | 出席者 | | 会場 |
|-----|-------------|-----|----|----------------------|
| | | 理事 | 監事 | |
| 第1回 | 平成26年 5月 8日 | 16 | 3 | 千葉県看護会館 1階会議室 |
| 第2回 | 平成26年 6月18日 | 18 | 3 | ホテルポートプラザちば 2階ルビー |
| 第3回 | 平成26年 7月17日 | 18 | 3 | ホテルポートプラザちば 2階パール |
| 第4回 | 平成26年 9月11日 | 18 | 3 | 千葉県看護会館 1階会議室 |
| 第5回 | 平成26年12月11日 | 17 | 3 | 京成ホテルミラマーレ8階オーキッドルーム |
| 第6回 | 平成27年 2月12日 | 16 | 2 | 千葉県看護会館 1階会議室 |
| 第7回 | 平成27年 3月12日 | 19 | 3 | 千葉県看護会館 1階会議室 |

2. 理事会協議事項

| 回数 | 開催月日 | 協議事項 | 協議内容 |
|-----|----------------|--|--|
| 第1回 | 平成26年 5月8日 | 議事 1 平成25年度事業報告について 2 平成25年度決算報告及び監査報告について 3 平成26年度改選役員等候補者について 4 平成27年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の選出について 5 平成26年度千葉県看護協会会長表彰について 6 役員の報酬等及び費用に関する規程の改正について | <ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 |
| 第2回 | 平成26年 6月18日 | 議事 1 会長、副会長、常任理事、職能理事（助産師職能・看護師職能）の選定について 2 理事会の議長（会長）に事故があった場合の議長について 3 業務執行理事の選定及び業務分担について 4 平成26年度役員の業務分担について 5 役員報酬額の決定について 6 職能委員の選任について 7 常任委員の選定について | <ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 地区担当理事について一部修正の上、満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 |

| 回数 | 開催月日 | 協議事項 | 協議内容 |
|-----|-----------------|--|---|
| 第3回 | 平成26年 7月17日 | 議事 1 任期に満たない場合の役員退職金に係る支給割合について 2 千葉県知事への要望について | <ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 |
| 第4回 | 平成26年 9月11日 | 議事 1 看護師職能委員会の領域による区分について 2 千葉県看護協会認定看護管理者制度教育課程運営規程の改正について | <ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 |
| 第5回 | 平成26年 12月11日 | 議事 1 平成26年度千葉県看護協会の収支予算の変更(補正予算)について 2 平成27年度事業計画基本方針について(スローガン・重点事業について) 3 定款変更について <small>(看護師職能委員会の領域区分に伴う職能理事の定数の変更について)</small> | <ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 重点事業について一部修正の上、満場一致で承認、 • 満場一致で承認 |
| 第6回 | 平成27年 2月12日 | 議事 1 平成26年度千葉県看護協会の収支予算の変更(2月補正)について 2 平成27年度生涯教育研修計画について 3 平成27年度定時総会の招集について | <ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 |
| 第7回 | 平成27年 3月12日 | 議事 1 平成27年度事業計画について 2 平成27年度予算について 3 平成27年度千葉県看護協会の運営について(組織体制・運営体制等) | <ul style="list-style-type: none"> • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 • 満場一致で承認 |

業務運営会議報告

専務理事 澤田 いつ子

1 業務運営会議の目的

柔軟かつ円滑な協会運営に資することを目的として、主に理事会へ提案する重要事項または臨時の必要がある事項等について事前に協議または審議するため、会長、副会長、専務理事、常任理事によって構成される。

2 開催状況

| 回数 | 開催日 | 協議事項 | 協議内容 |
|-----|----------------|---|---|
| 第1回 | 平成26年 6月16日 | 1 平成26年度定時総会の運営について 2 第2回理事会（組織運営にかかる事項）の議題について | ・定時総会における役割分担等について ・平成26年度定時総会における議題について |
| 第2回 | 8月20日 | 1 看護師職能委員会の領域による区分について 2 平成27年度における千葉県知事への要望事項等について | ・看護師職能委員会を領域Ⅰ（病院領域）、と領域Ⅱ（病院領域以外の）に区分することについて検討した ・理事、監事、施設等会員代表者など各方面からの要望を取りまとめ整理し、県の実施状況等により調整したうえで要望事項を整理した |
| 第3回 | 11月26日 | 1 平成26年度千葉県看護協会収支予算の変更（補正予算）について 2 平成27年度事業計画基本方針（案）について 3 看護師職能委員会の領域区分による定款変更案の定時総会への議案提出について | ・補正予算の概要について検討を行った ・次年度の事業計画等の基本方針（案）を協議した ・第4回理事会での承認を受けて看護師職能委員会の領域区分にかかる定款変更・職能委員会設置運営規程改正の具体案について協議した |
| 第4回 | 平成27年 3月10日 | 1 平成27年度事業計画について 2 平成27年度予算について 3 平成27年度千葉県看護協会運営方針について（組織体制・運営体制） | ・平成27年度事業計画案について協議した ・平成27年度予算について協議した ・平成27年度の組織体制・運営について検討した |

施設等会員代表者会報告

専務理事 澤田 いつ子

| 回数 | 開催日 | 場所 | 内容 |
|-----|----------------|----------------------------|--|
| 第1回 | 平成26年 7月17日 | ホテルポート プラザちば 2階 ロイヤル | <p>I 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成26年度千葉県看護協会の事業及び運営について 2 会費規程の改正について（年会費の免除について） 3 千葉県知事への要望について <p>II 講演</p> <p>「ナースセンターの機能強化に向けて」 講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 松月みどり 氏</p> <p>III 映画</p> <p>「ペコロスの母に会いに行く」 (株式会社独立映画センター)</p> |
| 第2回 | 平成27年 1月20日 | ホテルポート プラザちば 2階 ロイヤル | <p>I 議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成26年度事業の進捗状況について 2 平成27年度事業計画・方針（案）について 3 看護師職能委員会の領域区分に伴う定款等の変更について <p>II WLB推進事業報告</p> <p>「WLBの推進に取り組んだ千葉県内病院の看護職の働き方と離職率の変化について」 報告者 ・ 聖路加国際大学 看護学部 組原真祐子 氏 ・ WLB推進部会委員 聖路加国際大学 看護学部教授 吉田千文 氏</p> <p>III 講演 「多様な勤務形態による就業促進」 講師 社会医療法人明和会医療センター 法人本部 人事・企画調整主幹 竹中 君夫 氏</p> <p>講演 「地域包括病棟の開設にあたって」 講師 厚生労働省関東信越厚生局千葉事務所 医療指導監視監査官 山内 敦 氏 医療指導監視監査官 中村幸司 氏</p> |

地区部会長会等報告

専務理事 澤田 いつ子

I 平成26年度 地区部会長会

| 回数 | 開催日 | 内容 |
|-----|----------------|---|
| 第1回 | 平成26年 7月31日 | I 議題 1 平成26年度千葉県看護協会の体制について (1) 千葉県看護協会定款及び関連諸規程について (2) 千葉県看護協会の組織・運営について ①組織機構図・組織運営図について ②役員の職務と担当領域について ③理事・監事の事務分掌について ④事務局体制について (3) 事業計画・年間計画について 2 地区部会活動について (1) 地区部会活動の役割等について (2) 地区部会の円滑な実施（事務処理等の取扱い）について (3) 平成25年度地区部会活動報告について (4) 平成26年度地区部会活動年間計画について 3 その他 平成26年度におけるナースセンター事業の推進について II 意見交換 |
| 第2回 | 平成27年 2月18日 | I 議題 1 平成27年度千葉県看護協会事業について 2 平成26年度地区部会事業の進捗状況について 3 その他 |

II 平成26年度 地区部会会計担当者説明会

| 回数 | 開催日 | 内容 |
|-----|----------------|--|
| 第1回 | 平成26年 4月24日 | I 議題 平成26年度地区部会活動に係る会計処理について II 質疑応答 |

職 能 委 員 会 報 告

保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 中 村 知 江

I 活動目標

- 1 保健師の資質向上と保健師間の連携を強化するためのネットワークづくり
- 2 統括的な役割を果たす保健師の配置の推進
- 3 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る

II 活動内容

1 保健師活動交流会

- (1) 日 時 平成26年10月11日(土) 13時から16時30分
- (2) 会 場 千葉県看護協会 大研修室
- (3) テーマ 「生涯を通じた健康支援 —それぞれの活動領域で専門性を発揮する—」
- (4) ねらい 活動領域(地域保健・産業保健・医療機関等)を超えた交流会の開催により、保健師間の連携を強化し、生涯を通じた健康支援のためのネットワークの作りを図る。
- (5) 参加者 53名 (職能委員を含む)
- (6) 内 容

- ① 講 演 「生涯を通じた健康支援 —それぞれの活動領域で専門性を発揮する—」
講師 ヘルスプロモーション推進センター オフィスイわむろ 代表 岩室紳也 氏
- ② 活動報告 地域保健の立場から 浦安市 河野好美 氏
産業保健の立場から 一般財団法人君津健康センター 吉住次恵 氏
医療機関の立場から 医療法人社団上総会山之内病院 十枝英理 氏

③ 情報交換会

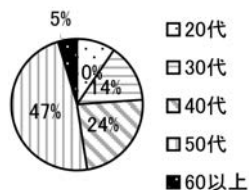
- (7) 総 括 企業、病院、行政などに働く保健師が一同に会する交流会はお互いの活動や役割が分かって連携の一步につながった。市民との協働による地域づくり、居場所づくりや、コミュニケーションの重要性などを再確認した。ヘルスプロモーションの視点から保健師の専門性を考える有意義な機会になった。

(8) アンケート結果

参加者数 53人 回答者数42人 (80%)

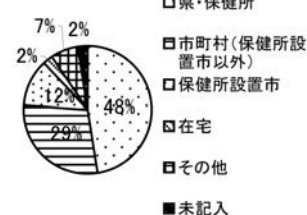
I 年齢

| | |
|------|----|
| 20代 | 4 |
| 30代 | 6 |
| 40代 | 10 |
| 50代 | 20 |
| 60以上 | 2 |
| 計 | 42 |



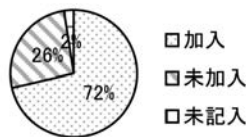
II 所属

| | |
|---------------|----|
| 県・保健所 | 20 |
| 市町村(保健所設置市以外) | 12 |
| 保健所設置市 | 5 |
| 在宅 | 1 |
| その他 | 3 |
| 未記入 | 1 |
| 計 | 42 |



Ⅲ 看護協会への加入

| | |
|-----|----|
| 加入 | 30 |
| 未加入 | 11 |
| 未記入 | 1 |
| 計 | 42 |



Ⅳ 参加動機 (複数回数可)

| | |
|---------------------------|----|
| 講演内容に興味があった | 36 |
| 他領域の保健師活動報告に興味があった | 21 |
| 仕事に活かせる内容だから | 10 |
| 他領域の保健師との情報交換と交流を深めたかったから | 9 |
| 職場で勧められて | 5 |
| 充電のため | 1 |
| 1人職場のため同じ業務内容の人と交流したい | 1 |

Ⅴ 本日の保健師活動交流会についてお聞きします

1. 【講演「生涯を通じた健康支援」—それぞれの活動領域で専門性を発揮する—】

(1) 内容

○全員が参考になったと回答した

(2) 時間

| | |
|--------|----|
| 足りない | 7 |
| ちょうど良い | 34 |
| 長い | 0 |
| 未記入 | 1 |
| 計 | 42 |

〔感想・意見等 抜粋〕

- ・地域包括支援は「居場所づくり」ということがすごくよくわかった。
- ・保健師の専門性を改めて追及することができた。先生の言葉が心にしみた。
- ・関係性、コミュニケーションの大切さを感じました。
- ・日々の業務がハイリスクアプローチに傾いていたことに気づかされ反省した。市民との協働、地域づくり、他職種連携という言葉をよく使うが具体的にどうすれば良いか考えたい。
- ・職場の人間関係で心が折れそうになっていましたので、お話を聞き、心を痛まないよう頑張ろうと思った。
- ・保健師の視点にばかりとらわれず、考えていきたいと思うきっかけになった。
- ・誰かとつながり、ここにひびく経験、相手に学ぶ姿勢、印象に残りました。

2. 【活動報告】

(1) 内容

| | |
|--------------|----|
| 参考になった | 41 |
| どちらともいえない | 1 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 計 | 42 |

〔感想・意見等 抜粋〕

- ・他職種の話を聞くことが出来てすごく良かった。保健師として周りをまきこみ、主体性を持たせるように人を動かす関係づくりがすごいと感じた。
- ・先生の講演とあいまって理解が進んだ。他の分野での活動と大切なことは同じと再確認した。
- ・多分野配置のメリット、デメリットを分析し課題解決に向けての取組みがうなずけました。
- ・分野は違っても、人とのつながりが健康づくりの原動力になっていることを実感した。
- ・他の職域の保健師活動が聞いて大変参考になった。他職域との交流をまたお願いしたい。
- ・各職域で生き生きと活動している保健師の状況がわかりモチベーションが上がりました。
- ・活動の原点は同じだと思った。いろいろな取組みが聞いて良かった。
- ・全体での情報交換の時間が持て、特に事務の方も交えての意見交換が楽しかった。市民共同活動の大切さを実践から気づくことができ勉強になった。

(2) 時間

| | |
|--------|----|
| 足りない | 13 |
| ちょうど良い | 27 |
| 長い | 1 |
| 未記入 | 1 |
| 計 | 42 |

3. 【情報交換】

〔主な感想・意見等〕

- ・グループでの情報交換が出来ず残念。グループワークがあるとつながりが出来やすいが、講義形式だと知り合いが出来にくい。
- ・とても良かったです。急に決まった中で岩室先生の司会がすばらしいので有意義な情報交換になったと思います。
- ・交流について設定時間が中途だったので変更して良かったと思います。別の時の企画を期待します。

Ⅵ 今回の保健師活動交流会を踏まえ、配置されている部署でどのような事に取り組みたいと考えますか

- ・いろいろと情報交換をするように努めたいと思います。
- ・活動の一つ一つ評価し見直す視点を意識していきたい。周囲の人の知恵をたくさんもらえるように声をかけていきたい。
- ・管内の他領域の保健師活動について把握できていない。連携の糸口をつかみたい。
- ・保健師自身がソーシャルキャピタルを常につくっていく人なのでそれが課題。心を痛まないように内容は生かしていきたいと思います。
- ・産業保健、病院からの報告が聞いて良かった。交流する必要性を強く感じた。
- ・市の保健師とのコミュニケーション、関係性について。
- ・教育と現場の橋渡しの役割が担えるとよいと考えます。
- ・市民との協働の環境づくり。市民と心に響く関わりをしていきたい。
- ・住民とのコミュニケーションと合わせて職場の保健師同士や他職種との対話を大切にしていきたい。
- ・まずは職場内のコミュニケーションの改善。
- ・担当業務に責任を持つがそれ以外には力を注がないような環境にある。やる気を失わないような職場づくりを心掛けたい。

Ⅶ 保健師職能集会は、「統括保健師」をテーマに開催予定(1月頃)です。研修への意見、要望をお聞かせください

- ・統括保健師は役職ではなく役割が多いと思いますが、内外からどの様に認識されている中でどんな活動をしているのか。
- ・参加したくなるような内容を希望します。
- ・日程が合えば参加したい。
- ・統括保健師の具体的な役割。どう人事へ必要性を伝えていくか。
- ・統括保健師がいない自治体のため、統括を位置づけるには職場の理解や新任、中堅期保健師の理解や協力が必要。統括保健師対象の研修や情報交換だけでなく新任・中堅期の認識を高められるような研修内容を盛り込んでほしい。
- ・統括保健師から、保健師を伝承してもらえるような熱い思いを抱いて組織の中で動いていただけるような内容にしてほしい。

Ⅷ 今後、企画してほしい研修会や講演会、また保健師職能委員会に望むことや御意見をお聞かせください。

- ・新任者と中堅保健師が交流する場。多分野配置の課題と対策、地区担当制について考える機会が再度あると良い。
- ・保健師活動指針にある保健師の役割について確認。どう活動していくか、多分野の保健師と考えたい。保健師の行う環境、しくみづくりを考えた協働について。
- ・いつも素晴らしい企画をありがとうございます。
- ・今回は参加してとてもよかった。

2 保健師職能集会の開催

- (1) 日 時 平成27年1月17日(土) 13時から16時30分
- (2) 会 場 千葉県看護協会 中研修室
- (3) テーマ 「統括保健師について考えよう！それぞれの立場・キャリアから統括保健師のあり方について考えてみませんか？」
- (4) ねらい 保健師の活動領域の拡大により自治体において分散配置が進んでいるが、効果的な保健活動の実践には組織横断的な取り組みを行う統括保健師の配置が望ましいとされている。他部署連携の必要性や統括的保健師の役割について、再認識し配置を促進するための一助とする。
- (5) 参加者 35名 (職能委員を含む)
- (6) 内 容

① 講 演 「分散配置と他部署連携 ―統括保健師の役割と配置の促進に向けて―」

講師 国民健康保険中央会 参与 鎌形喜代実 氏

② 活動報告 「統括保健師の役割」 習志野市 中村 晴美 氏

「柏市の他部署連携について」 柏市 高木 絹代 氏

③ 交流会 (ワールドカフェ方式)

テーマ「統括保健師ってなんだろう」

- (7) 総 括 講師から、他部署連携の実際や、統括的な役割を果たしてきた体験を通じ、自治体に働く保健師の自覚と責任について学んだ。また活動報告では、統括保健師配置に向けた上司への働きかけや、「統括保健師人材育成プログラム」の研修紹介、他部署連携を組織的に行っている自治体の状況を知ること、それぞれの職場で行動を起こそうという気持ちが高まった。交流会は重層が高く初対面でも意見が出しやすく好評であった。テーマからリーダー的な立場の保健師の参加が多かった。

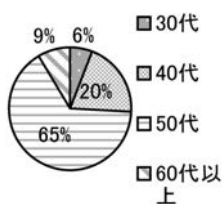


(8) アンケート結果

参加者数35人 回答者数35人 (100%)

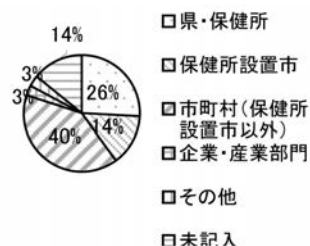
I 年齢

| | |
|------|----|
| 30代 | 2 |
| 40代 | 7 |
| 50代 | 23 |
| 60以上 | 3 |
| 計 | 35 |



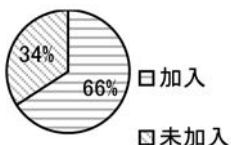
II 所属

| | |
|---------------|----|
| 県・保健所 | 9 |
| 保健所設置市 | 5 |
| 市町村(保健所設置市以外) | 14 |
| 企業・産業部門 | 1 |
| その他 | 1 |
| 未記入 | 5 |
| 計 | 35 |



III 看護協会への加入

| | |
|-----|----|
| 加入 | 23 |
| 未加入 | 12 |
| 計 | 35 |



IV 参加動機 (複数回数可)

| | |
|-------------------------|----|
| 講演内容に興味があったから | 24 |
| 活動報告に興味があったから | 15 |
| 保健師間と交流を深めたかったから | 13 |
| 仕事に活かせる内容だから | 13 |
| 職場で勧められたから | 3 |
| その他(ワールドカフェを体験したかったから等) | 3 |
| 講演内容に興味があったから | 24 |

V 本日の保健師職能集会についてお聞きします

1. 【講演「分散配置と他部署連携—統括保健師の役割と配置の促進に向けて—」】

(1) 内容について ○全員が参考になったと回答した。

〔感想・意見等 抜粋〕

- ・統括保健師の役割を担った方の講演を聞き、体験談からさまざまな苦勞があり、地域のために働いてこられたことを聞くことができよかった。
- ・保健活動の経過をふりかえり、実体験談を伺うなかで、自分の過去の活動を思い出しながら地区活動はワクワクした記憶がよみがえった。若い職員にこのような活動をさせてあげたいと思った。
- ・まとめて保健師連絡会が情報交換に終わることなく問題解決をしないといけないということが参考になった。
- ・行政に勤務するという自覚を育てることも大事なことで、改めて、言葉にしていくことが大切だと思います。
- ・刺激になりました。最近疲れ気味でしたが聞いて少し元気になりました。
- ・保健師活動の原点や統括保健師の役割や動き方がとても参考になった。
- ・まとめとしての「統括保健師の機能」がよくまとめられてよかった。
- ・前段が長かったがためになった。

2. 【活動報告】

(1) 内容について

| | |
|--------------|----|
| 参考になった | 34 |
| どちらともいえない | 1 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 計 | 35 |

〔感想・意見等 抜粋〕

- ・同じ課題があることを感じた。人事に統括を！という提案ができたことは素晴らしい。工夫していくこと情報交換が大事。
- ・他市の保健師連携や他部署連携が参考になった。
- ・指針の改定から、他市町村がどのように統括保健師の役割に対して向かっているのかわかった。
- ・管理職の集まりは部下へどの様に伝えられているのか知れたかった。
- ・職場に戻って報告し取り入れたい。

3. 【交流会】

(1) 内容について

| | |
|--------------|----|
| 参考になった | 26 |
| どちらともいえない | 1 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 未記入 | 8 |
| 計 | 35 |

(2) ワールドカフェ方式について(複数回答)

| | |
|----------|----|
| 楽しかった | 23 |
| 自由に発言出来た | 15 |
| 交流出来た | 15 |
| あわただしかった | 2 |
| 一考を要する | 0 |

4. 【時間について】

| | |
|--------|----|
| 足りない | 5 |
| ちょうど良い | 25 |
| 長い | 1 |
| 未記入 | 4 |
| 計 | 35 |

〔感想・意見等 抜粋〕

- ・とても楽しく自由に笑って交流できてよかった。また、是非この方式で交流会をしてほしい。
- ・はじめて出会う人たちがばかりで緊張したが、交流会という形はすごく話しやすかった。
- ・いろいろな方の意見がきけて楽しかった。自由度が高くて意見が出しやすかった。
- ・発表もなく各市の状況が具体的にわかってよかった。
- ・ワールドカフェ方式、はじめて知ったが、体験できてよかった。今後取り入れたいと思った。
- ・ワールドカフェ方式そのものを知らなかったのもう少し説明をききたかった。

VI 今回の保健師職能集会を踏まえて、配置されている部署でどのような事に取り組みたいと考えますか。

- ・統括保健師を作るには結局、人材育成（質の向上）が根本だと理解した。保健師としての能力向上、取得はどんな職位にも必要ですね。
- ・現任教育マニュアルを今年度作成中ですので大変参考になりました。取り入れたいと考えております。
- ・現在も職員の育成が重要と考えており、主査級の職員の意識の向上を取り組み中です。
- ・上司への理解をさらにすすめたい。（事務分掌（統括のための）や職位の向上にむけて）
- ・人材育成、ジョブローテの資料にしていきたい。
- ・所内研を大事にしたい。成果物を出せるような会を持つ。
- ・評価と明文化していくこと、みせる化、保健師としてのあり方を考えていく、モチベーションを下げないために。
- ・業務分担制の中で、業務にどっぷりはまっている現状。しかし、地区を見る視点、他業務への関心をまず持ち直す必要を感じました。
- ・大きな市ではないので、統括が必要というほどではないが、役所の中で職位のつく保健師が多くなるよう、日々頑張つて働こうと思います。
- ・できることから少しづつ行ってみようと思いました。定例の集まる機会を持つこと等。
- ・ワールドカフェ方式をやってみよう。
- ・心の整理がつかないです。

VII 今後、保健師職能委員会で企画してほしい研修会の内容や推薦する講師がありましたらお書きください。

- ・蛭名玲子先生、ヘルソコミュニケーション。・近藤克則先生・事例検討
- ・保健師、地域包括ケア、記録の作成方法、個人情報の考え方等

VIII 千葉県看護協会への期待や要望がありましたらお聞かせください。（未加入の方も御記入ください）

- ・保健師向け研修の企画。経験別グループ。地区診断など。
- ・地域診断（保健師活動を行う上で必要だと思うが、職場の上司の理解が得られにくく地域診断の効果的、効率的な進め方を知りたい。）
- ・地域ケアシステムについて
- ・近隣県や全国の会員の保健活動情報もお聞きしたい。
- ・保健師が参加したいような（参加できる）研修案内。
- ・研修計画に行政保健師対象のものがあまりなく、参加してみたいと思うものが少ないので（三職種対象のものはあるが）協会へ加入する者が少なくなっています。
- ・全員の中から各部会・委員会の委員が出されるが、各委員の負担があまり多くならないようになるとういなと思います。
- ・身近な地区部会での活用を保健師に広げていただく（疾病の予防など）ことで、協会をもっと非会員にも理解してもらえ機会づくりになると思います。地区部会の研修の講師を保健師に依頼してみるなどいい。
- ・入会案内作成いただき、活用して声かけたいと思います。

3 保健師職能組織力アップのための取組

- (1) 保健師職能だより（別記1）の発行 年2回
- (2) 入会勧誘チラシ（別記2）の作成と配布・メール配信
- (3) 交流会や集会の開催案内や保健師職能だよりは会員だけでなく、市町村保健活動連絡協議会事務局の協力を得て県内市町村へも広く周知。

4 看護の日の集いに協力

- (1) 日 時 平成26年5月17日（日）
- (2) 場 所 アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>
- (3) 内 容 健康相談・進路相談・乳がん自己検診法等

5 保健師職能委員長等の各団体への参加・協力

- (1) 千葉県看護協会事業：通常総会・役員会・理事会・施設代表者会議
- (2) 日本看護協会事業：代議員研修会・通常総会・全国及び地区別職能委員長会・保健師活動基礎調査
- (3) 千葉県保健師現任教育推進に関する会議
- (4) 千葉県小児保健協会理事会

Ⅲ 保健師職能委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|----------------|--|---|
| 第1回 | 平成26年 7月8日 | 1. 委員会活動計画及び運営方法について 2. 保健師活動交流会について 3. 日看協全国保健師交流会報告 | ・年間活動計画の検討、役割分担の決定 ・保健師活動交流会の企画 |
| 第2回 | 8月26日 | 1. 全国職能委員長会議報告 2. 保健師活動交流会の検討 3. 保健師職能だよりについて 4. 会員増のための検討 5. 「看護の日」行事について | ・全国職能委員長会議報告 ・保健師活動交流会の詳細検討 ・保健師職能だよりの記事の検討 ・会員勧誘チラシの作成 ・「看護の日」中央行事について |
| 第3回 | 10月11日 | 1. 保健師活動交流会の準備 2. 保健師職能集会の検討 3. 会員増のための検討 | ・保健師活動交流会の準備・まとめ ・保健師職能集会の企画 ・会員勧誘チラシの配布について |
| 第4回 | 10月28日 | 1. 地区別職能委員長会議報告 2. 保健師活動交流会の評価 3. 保健師職能集会の検討 4. 保健師職能だよりについて | ・地区別職能委員長会議報告 ・保健師活動交流会のアンケート集計結果の報告 ・保健師職能集会の企画 ・保健師職能だよりの記事の検討 |
| 第5回 | 11月26日 | 1. 保健師職能集会について 2. 保健師職能委員会中間報告 3. その他 | ・保健師職能集会の詳細検討 ・保健師職能委員会中間報告 ・「看護の日」行事について報告 |
| 第6回 | 平成27年 2月16日 | 1. 保健師職能集会の評価 2. 平成26年度委員会活動実績 3. 平成27年度委員会活動計画 | ・保健師職能集会のアンケート集計結果の報告・評価 ・活動実績の総括について ・活動計画について |

IV 保健師職能委員会活動計画

| 項目 | 内容 | |
|--------------|---|--|
| 活動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師の資質向上と保健師間の連携を強化するためのネットワークづくり 2. 統括的な役割を果たす保健師の配置の推進 3. 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る | |
| 委員会 開催予定 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師職能委員会 年8回 2. 三職能合同委員会 | |
| 検討事項 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師職能集会・活動交流会の開催を通じ保健師の資質向上と保健師間の連携を強化し、ネットワークづくりを行う 2. 統括的役割を果たす保健師の役割や配置について関係機関との情報交換や職能集会等でテーマに取り上げ、配置を推進する 3. 会員数を増やし保健師職能の組織力をアップさせるため、保健師職能だよりの発行や職能委員会活動を、会員増促進委員や他団体と協力して周知する | |
| 交流会等 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 他領域に働く保健師との交流会の開催 | |
| 職能集会 の持ち方 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度活動実績報告 2. 本年度活動方針について報告 3. 講演会又はシンポジウム等の開催 「統括保健師について」 4. 意見交換 | |
| 三職能合 同委員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 三職能共通の課題の検討 | |
| その他 | 日本看護協会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県看護協会保健師職能委員会活動状況報告 2. 日本看護協会総会（全国保健師職能集会） 3. 都道府県職能委員長会議 年2回 4. 地区別法人委員会・都道府県職能委員長会 年1回 |
| | 印刷物 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師職能だより 2. 職能集会資料 |
| | その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県看護協会事業への参加・協力 2. 千葉県小児保健協会理事会・総会への参画 |

(別記1)

千葉県看護協会

保健師職能だより

平成26年度 夏号

平成26年度 保健師職能委員会

本委員会は職能上の問題を審議し会長に勧告する役割を担っています

活動計画

- 1 保健師の質向上と連携を強化するためのネットワークづくり (保健師職能集会・活動交流会の開催 等)
- 2 統括的な役割を果たす保健師の配置の推進 (保健師活動指針活用ガイドの周知、統括的保健師の配置状況の調査 等)
- 3 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る (勧誘チラシ作製、職能委員会活動の周知、保健師職能だよりの発行 等)

委員紹介

産業保健からの委員も加りました。

今年度は、この7名で頑張ります～

委員長 中村知江 (松戸健康福祉センター)

副委員長 友野和江 (柏市保健所)

委員 河野享子 (県健康づくり支援課)

塚田真直 (君津健康福祉センター)

河野好美 (清安市社会福祉課)

鈴木由紀子 (県総務部)

吉住次恵 (財) 君津健康センター

日本看護協会主催 全国職能委員長会 報告

日時：平成26年8月1日(金)

場所：萬山ダイヤモンドホール

午前中は三職能合同委員会が行われ、役員紹介や報告事項の後、「地域包括ケアシステムの構築について」と題し、厚生労働省老健課老人保健課長 迫井正深氏から講演がありました。

午後は保健師職能委員会、「地域包括ケアシステムの構築に向けた保健師への期待」と題し、国立医療科学研究所 統括研究官の藤又真子氏の講演と、「都道府県内で統括保健師の配置を進めるために、どのように活動しているか」についてグループワークを行いました。

「保健師の活動基盤に関する基礎調査」(厚生労働省 統括的保健師活動交流推進事業)

1期間：8月26日～9月30日 2対象：保健師として活動をしている全国の保健師

3方法：Web調査 日本看護協会 様式 調査に協力をお願いします！！

保健師活動交流会のお知らせ

申し込みは別途のチラシにて、9月末日まで

活動領域(地域・産業・医療機関等)を超えた交流を認めませんか？

企業、病院、行政などに働く保健師の、連携を促し、生涯を通じた健康支援のためのネットワークをもつ機会といませんか？新しい情報・人材を得られることを期待します。

日時 平成26年10月11日(土) 午後1時～午後4時30分(受付12:30～)

場所 千葉県看護協会 2階 大研修室

〇講演 「生涯を通じた健康支援 ～それぞれの活動領域で専門性を発揮する～」

ヘルスプロモーション推進センター (オフィスいわむら) 代表 岩室 紳也 先生

〇活動報告 地域保健・職能保健・医療機関から活動報告

〇情報交換会 講師 岩室 紳也 先生

活動報告

平成25年度保健師活動交流会

テーマ「保健師活動の原点 ― 今 あらためて地区活動を考える―」

保健師活動指針が25年4月に10年ぶりに改定されたことを踏まえ、保健師活動の原点である地区活動について見直し、各所属で地区活動に取り組みの体制を整える機会として下記のとおり開催しました。

(1) 日時 平成26年1月18日(土) 午後1時～4時30分

(2) 場所 千葉県看護協会 2階 中研修室

(3) 参加者 73名(所属：市町村33・県及び保健所31・医療機関4・学校1・関係機関4)

(4) 内容

- 1講演 「保健師活動の原点 今あらためて地区活動を考える」
――保健師活動指針の改定を踏まえて――
講師 公益社団法人 日本看護協会 保健師職能委員長 中板 育美 氏
- 2実践報告 「地区活動の取り組み 保健師活動検討会から」
報告者 佐倉市健康子ども部健康推進課 主査補 戸村恵実 氏
「保健師活動の強みを生かした地域の防災意識向上への取り組み」
報告者 館山市健康福祉部健康課 副課長 上野 遼子 氏
予防係 宮井 利枝 氏
- 3グループワーク テーマ「地区活動を推進するために今からできること」
- 4講演 「罵言・暴力から身を守る―リスクマネジメント―」
講師 公益社団法人 日本看護協会 保健師職能委員長 中板 育美 氏

講師から指針の発出に込められた思いや、指針を戦略的に生かす具体的な取り組みとして、「個人だけでなく、家族や地域をみることで地域の急上げができる地区担当制の導入」、「新任を計画的に採用し人材育成し活動を伝承できる体制の構築」、「組織横断的に調整支援を行う統括保健師の配置」等が熱く語られ、指針の理解が深まりました。

実践報告では、分散配置されていたも合同検討会を開催し、地区診断から見えた健康課題を、それぞれの部署で連携し成果を上げた報告と、3・11の東日本大震災以降に取り組んだ住民への防災意識向上のための地区担当制の強みを生かした活動が報告された。

グループワークでは、講演や実践報告を受けて、今後取り組みべきことについて意見を交換した。交流会のねらいであった、指針を踏まえた保健師活動の原点である地区活動見直しのきっかけづくりに役立ち、幅広い年齢層や他職種からの参加があり、関心の高さがうかがえた。

アンケート結果では、今後各所属において取り組みたいこととして、「指針を再度読み込み共通理解や意見交換をしていく」、「地区診断については、「話し合いの場を持つ必要性、部門を超えて行う必要性を感じた」、「住民と接する時間を増やし、PDCAサイクルを振り返る、住民の声を聞き、健康問題をアンテナを高くして収集し、事業を展開していきたい」「統括保健師設置に向けた努力をしたい」連携については、「他職種との話し合い、他部門との話し合いを持ち連携を深める」といった意見が多くなりました。

保健師活動指針 活用ガイド ができました！(平成26年3月) イラストが盛りだくさん、読みやすいものです。日本看護協会HPよりダウンロードできます。是非ご利用ください。
<http://www.nurse.or.jp/home/hokenshi/index.html>

看護協会入会の案内

保健師職能委員会では、保健師職能だよりによる情報発信や研修会等を行っています。案内に勤務又は居住する看護職であればいつでも加入できます。詳しくは協会HP <http://www.ona.or.jp/> をご覧ください。

千葉県看護協会

保健師職能だより

平成26年度 冬号

平成26年度 保健師活動交流会 報告

三連休の初日にも関わらず・・・

☆平成26年10月11日(土)に開催され、46名の参加がありました。

〇講演 「生涯を通じた健康支援 ―それぞれの活動領域で専門性を発揮する―」

講師：ヘルスプロモーション推進センター (オフィスいわむら) 代表 岩室紳也 先生

〇活動報告会

- ・地域保健：清安市 河野好美 氏
- ・産業保健：一般財団法人 君津健康センター 吉住次恵 氏
- ・医療関係：医療法人社団上総会 山之内病院健診センター 十枝英理 氏

〇情報交換会 講師・まとめた 岩室紳也 先生

アンケートの声から

☆他の職種の保健師活動が聞けて大変参考になった。

☆産業分野の活動が具体的にわかって今後連携する機会がある可能性につながった。

☆保健師の活動を聞かれ、一言では答えられないと思いつつ、保健師のことを考える機会にもなった。

つながること、顔を出すこと、話すことの大切さを学びました。

☆活動の原点は同じだと思った。いろいろな取り組みが聞けて良かった。他の分野で頑張っている保健師の活動を聞いて自分たちも頑張らなければと思った。

☆随かとなつたり、こころにひびく経験、相手に学ぶ姿勢、印象に残りました。

☆保健師の専門性は何か、保健師のやるべきこと、大切にしたいことを再確認できた。

☆講演を聞いていくうちにアイデア(元氣)をもらったように思いました。

◆時間が足りなかったため、グループに分かれた情報交換会は実施せず、全体での情報交換を行いました。グループワークを期待して参加してくださった方には申し訳ありませんでした。

平成26年度保健師職能集会

他部署連携の必要性や統括保健師の役割について、様々な立場から語っていただきます。

今回は発表、まともなしのワールドカフェ方式です。

☆乞うご期待!! ☆

テーマ「統括保健師について考えよう！」

～それぞれの立場・キャリアから統括保健師の在り方について考えてみませんか？～

〇日時 平成27年1月17日(土) 午後1時～午後4時30分(受付12時30分～)

〇場所 千葉県看護協会 2階中研修室

〇対象 千葉県内在住・在勤の保健師

☆千葉県看護協会員でない方の参加も大歓迎です！

お申し込みは配布のチラシをご覧ください

講演 「分散配置と他部署連携～統括保健師の役割と配置の促進に向けて～」

〇講師 国民健康保険中央会参与(元 市川市こども部長) 鎌形代表 氏

☆鎌形氏は市川市で部長職まで勤められ、現在は国民健康中央会で仕事をされています。

活動報告

☆統括保健師の役割 密志野市健康支援課主幹 中村清美 氏

☆柏市の他部署連携について 柏市こども福祉課副参事 高木樹代 氏

☆講演と報告の後はワールドカフェ方式のグループワークで自由に情報交換ができる時間を設けます。みんなでお茶を飲みながらいろんなことを話し合います。

保健師活動指針 活用ガイド ができました！(平成26年3月) イラストが盛りだくさん、読みやすいものです。日本看護協会HPよりダウンロードできます。是非ご利用ください。
<http://www.nurse.or.jp/home/hokenshi/index.html>

看護協会入会の案内 これからの保健師活動をより楽しく、やりがいのあるものにしませんか

保健師職能委員会では、保健師職能だよりによる情報発信や研修会等を行っています。案内に勤務又は居住する看護職であればいつでも加入できます。詳しくは協会HP <http://www.ona.or.jp/> をご覧ください。

一緒に活動してみませんか？

♪千葉県看護協会の入会については・・・

別紙「公益社団法人千葉県看護協会入会のご案内」をご参照ください。
同時に日本看護協会入会の手続きも可能であり、次のような特典が受けられます。

- 資質向上、スキルアップに活用のために
「各種研修会」への参加、図書室の利用が可
- 会員優待割引の利用
 - ・千葉県看護協会クラブオフ（会員福利厚生サービス、HPから予約）の利用
 - ・アフラック：「がん保険」「医療保険」に集団取扱い価格で加入
 - ・オートウェイブ・オイルボーイ各店でカー用品10%割引で利用
 - ・PTS 旅倶楽部希望ツアー・シェラトンホテル（浦安）・太閤の里（九十九里）・鴨川シーワールドを特別優待料金で利用 etc
- 日本看護協会機関紙「協会ニュース」（毎月）
- 県看護協会だより「看護ちば」による情報提供（年4回）
- 「日本看護学会・および学会誌」への参画
- 看護職賠償責任保険への加入



入会等に関するお問い合わせはこちらへ

公益社団法人 **千葉県看護協会**
 〒261-0002 千葉市美浜区新港249-4
 電話 043-245-1744
 FAX 043-248-7246
 HP アドレス <http://www.cna.or.jp>

千葉県内保健師の皆さん！

保健師活動について・・・

“保健師にしか出来ない、
求められている役割に応えたい！”
“他の保健師さんは、どのように
活動しているんだろう？”
“もっと保健師としてのスキルを身につけたい”
“同じような思いの仲間とつながりたいな・・・”



そんなあなた♪
ぜひ保健師職能を活用しましょう！

千葉県看護協会入会随時受付中!!

～保健師職能委員会でこれからの保健師活動を一緒に考えてみませんか？～

看護協会として
保健師の増員等を県への
要望の中に入れる働きかけをしています



★保健師のこれからについて一緒に考えましょう！！

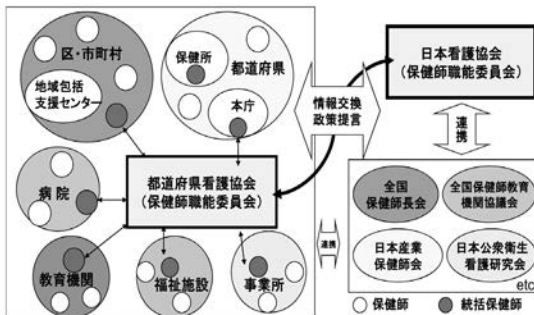
特定健診や特定保健指導等、保健師の予防的視点が期待される一方、保健師の分散配置や保健師養成、現任教育のあり方等が、課題として全国的に検討されています。このような中で地域の健康問題の解決に向けて、一人一人の保健師職能が、共にネットワークを組んで保健師活動を推進することが重要です。

また、保健師職能が置かれている課題を把握し、改善のための取り組みを行っていく必要があります。その内容によっては都道府県看護協会から日本看護協会を通じて国や県に要望していくことも可能です。

日本看護協会は、保健師職能のために、保健師の大学院教育の推進や新人を含めた保健師教育の予算化と仕組みづくりを積極的に国に働きかけています。

～看護協会に入会して、専門職として、これからのあなたの保健師活動をより楽しく、もっとやりがいのあるものにしませんか～

<保健師の活動基盤強化のためのネットワーク>



- 私たちが目指すネットワーク
- ① 分散配置している保健師をつなぐネットワーク
 - ② 共に学び、資質向上するためのネットワーク
 - ③ 情報収集、伝達が出るネットワーク
 - ④ 会員増につなげ、組織強化を行うネットワーク
 - ⑤ 都道府県看護協会と活動方針を共有し、活動推進するネットワーク
 - ⑥ 政策提言を行うネットワーク
 - ⑦ 全国都道府県関係組織団体とのネットワーク

Q.どんな活動をしているの？

A.保健師職能委員会の活動内容は次のとおりです

<活動目標>

- 保健師が専門性を発揮し、効果的な保健活動が推進できるよう保健師一人ひとりの資質向上を図る
- 会員数を増やし、保健師職能の組織力アップを図る

<活動内容>



ほぼ毎月委員会を開催し保健師活動の工夫点や課題について話し合っています。

現在委員は7名、楽しく集まっています！

- 委員は、看護協会を通じて、国や他自治体・県内の最新情報等が得られます。
- 任期は2年間です。
- 委員同士のつながりは深く、委員経験者からは「他の委員の仕事への姿勢や情熱に触発された」「違う職場の保健師とたくさん知り合った」等の意見をいただいています。
- 職能委員の経験は、仕事へのやりがいにもつながっています!!

助産師職能委員会

委員長 大澤豊子

I 活動目標

1. 県民の安全かつ安心な妊娠、出産、育児をめざし、助産師が、実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。
2. 会員相互の情報交換を図り、県内産科医療施設間の連携を強化する。

II 活動内容

1. 職能集会

平成26年度 助産師職能集会

日 時：平成26年10月30日（木） 13:00～16:30

場 所：千葉県看護会館 2階中研修室

テーマ：『助産師に求められる感染管理』

趣 旨：産科では妊娠・分娩・産褥期の免疫抵抗力が低下した状態にある母体、及び免疫抵抗力の弱い新生児にとって、また、常に血液や体液を扱う助産師自身の健康を守るためにも感染防止は重要である。さらに、近年は風疹、梅毒といった従来からある感染症の再興も問題となっており、これらのことから助産師には、安全で安心な助産ケアを提供するうえで感染防止に留意することが求められている。しかし、主として健康な母子のケアを扱っているという思いもあり、助産師の感染防止における対策は十分とはいえず、現場からは「感染管理を取り上げてほしい」という要望も多い。そこで、感染管理認定看護師をお招きし、助産師として知っておくべき、最新かつスタンダードな感染管理の知識について再認識する機会を設け、母子の信頼にこたえる助産ケアの提供が図れるようにしたいと考える。

プログラム：（12:30～ 受付開始）

13:00～13:05 オリエンテーション

13:05～13:15 助産師職能委員長 挨拶

13:15～14:45 講演「助産師に求められる最新の感染管理」

講師：千葉西総合病院 感染管理認定看護師 山崎ゆかり 氏

14:45～15:00 休憩

15:00～16:10 グループディスカッション

「自施設における感染管理の現状、及び今後の取り組み上の課題と方向性」

16:10～16:30 まとめ、アンケート記入終了

平成26年度 助産師職能集会アンケート結果

アンケート回収：23/26名（回収率88%）

1) 年齢

| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 無回答 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4名 | 8名 | 6名 | 5名 | 0名 | 0名 |

2) 勤務先の種類

| 総合病院 (産科単科病棟) | 総合病院 (産科混合病棟) | 産科個人病院 ・診療所 | 看護師養成機関 | その他 | 無回答 |
|------------------|------------------|----------------|---------|-----|-----|
| 4名 | 17名 | 1名 | 1名 | 0名 | 0名 |

産科混合病棟内訳 外科：1名、内科・リハビリ：1名、産婦人科：2名、他科：1名、小児科・婦人科・
外科・内科：1名、婦人科・内科：1名、婦人科・小児科：1名、外来・眼科・
婦人科：1名、内科・外科・整形・眼科：1名

3) 職位

| 看護部長 | 副看護部長 | 師長 | 主任 | スタッフ | 教員 | その他 副主任 | 無回答 |
|------|-------|----|----|------|----|------------|-----|
| 0名 | 0名 | 2名 | 5名 | 13名 | 1名 | 2名 | 0名 |

4) 職種の経験年数

| 1～5年 | 6～10年 | 11～15年 | 16年以上 | 無回答 |
|------|-------|--------|-------|-----|
| 7名 | 4名 | 2名 | 10名 | 0名 |

5) 開催時期は適当か

| はい | いいえ | 無回答 |
|-----|-----|-----|
| 23名 | 0名 | 0名 |

理由： はい

- ・院内で感染対策に力を入れ始めたところでした。

6) 講演に対する満足度

| 満足 | やや満足 | やや不満足 | 不満足 | 無回答 |
|-----|------|-------|-----|-----|
| 17名 | 6名 | 0名 | 0名 | 0名 |

7) 話題提供・グループディスカッションに対する満足度

| 満足 | やや満足 | やや不満足 | 不満足 | 無回答 |
|-----|------|-------|-----|-----|
| 17名 | 4名 | 0名 | 0名 | 2名 |

理由： 満足

- ・聞きたかったことが聞けた。
- ・他の施設の話を知ることができた。
- ・同じエリアでの他病院の方が行っているケアを知ることができた。
- ・他施設の状況を聞くことができた。
- ・交流ができた。
- ・他施設とディスカッションできて勉強になった。
- ・他施設の状況が理解できて、よいところは参考にしていきたいと思った。

8) 全体（講演・全体討議）を通して、助産師活動に活かせる内容か

| とても活かせる | やや活かせる | あまり活かさない | 活かさない | 無回答 |
|---------|--------|----------|-------|-----|
| 17名 | 4名 | 0名 | 0名 | 2名 |

理由： とても活かせる

- ・振り返りの場となると同時に、わかっているのにやっていないことが明確になった。
- ・具体的でわかりやすかった。

9) この職能集会は、今後の助産師同士のネットワークづくりに活用できそうか

| はい | いいえ | 無回答 |
|-----|-----|-----|
| 18名 | 2名 | 3名 |

10) 今後、助産師職能集會にて取り上げてほしいテーマ

- ・クリニカルラダーレベルⅢ申請のための必修研修をやってほしい

総括：標準予防対策から、助産師に必要とされる分娩介助、母乳ケア、新生児のおむつ交換時の予防対策、及び母子感染について、最新の知見を踏まえた講義を聴くことができた。参加者のアンケートからは、満足度が高く、今後に活かせる内容であったこと、多施設の状況を聞くことができたことや多施設の助産師と交流が出来たことが理由として挙げられる。最新の情報提供とともに助産師同士の交流を図る機会となり、助産師の実践能力の向上及び会員相互の情報交換と交流の推進に繋がったと言える。

2. 産科管理者交流会

平成26年度 産科管理者交流会

日 時：平成26年12月3日（水）10：00～16：00

場 所：千葉県看護会館 2階中研修室

テーマ：『助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証制度に向けて』

趣 旨：昨年度の産科管理者交流会において、助産ケアの質の均一化ならびに助産師の能力の見える化のために「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の活用」について最新の情報を得て、皆様方の分娩施設の状況や日ごろの取り組み、今後の課題解決にむけての情報交換をしてきた。平成27年8月より日本助産評価機構が認証機関となりレベルⅢの認証が開始される。これに先立ち、日本看護協会助産師職能副委員長および委員のお二人の方を招きし、「レベルⅢ」の認証申請に必要な取り組みについて講演をしていただくこととした。なお、今年度も昨年度に引き続き、他施設の方々と情報交換を企画しているため、1日開催とする。

プログラム：（9：30～ 受付開始）

10：00～10：15 オリエンテーション、助産師職能委員長挨拶

10：15～11：40 講演「助産師実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢの認証申請に必要な取り組み」

講師：日本看護協会助産師職能副委員長 佐山 静江 氏

日本看護協会助産師職能委員 菊地 敦子 氏

11：40～11：45 休憩

11：45～12：00 話題提供「レベルⅢ認証申請に向けての自施設の取り組み」

独立行政法人国立病院機構千葉医療センター

副看護師長 小野 真由美 氏（助産師職能委員）

12：00～13：00 昼休憩

13：00～15：00 グループディスカッション

「レベルⅢ認証申請に向けての自施設の取り組みと課題、情報共有と意見交換」

15：00～16：00 まとめ、アンケート記入終了

平成26年度 産科管理者交流会アンケート結果

参加者：26名

アンケート回収：22/26名（回収率84.6%）

1) 年齢

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
| 0名 | 3名 | 13名 | 6名 | 0名 |

2) 勤務先の種類

| | | | |
|--------------|--------------|------------|-----------------------|
| 総合病院（産科単科病棟） | 総合病院（産科混合病棟） | 産科個人病院・診療所 | その他 周産期センター1、教育機関1 |
| 5名 | 15名 | 0名 | 2名 |

産科混合病棟内訳：婦人科12、乳腺外科、小児科3、内科2、外科2、眼科2、耳鼻科、血管外科、空床あれば何科でも1

3) 職位

| | | | | | |
|------|-----|----|-----|------|--------------|
| 看護部長 | 師長 | 主任 | 副主任 | スタッフ | その他看護係長1、不明1 |
| 0名 | 16名 | 3名 | 0名 | 1名 | 2名 |

4) 職種

| | |
|------------|----------|
| 助産師 | 看護師 |
| 20名（90.1%） | 2名（9.1%） |

5) 職位の経験年数

| | | | | |
|------|------|-------|--------|-------|
| 1～3年 | 4～6年 | 7～10年 | 11～15年 | 16年以上 |
| 3名 | 4名 | 4名 | 5名 | 6名 |

6) 開催時期および時間帯は適当か

| | |
|-----|-----|
| はい | いいえ |
| 20名 | 2名 |

理由： はい

- ・早めに連絡されたので勤務調整が可能であった
- ・ラダーに取り組んでいかなければと思っていたのでよかった

いいえ

- ・H27.8月に向けてならもっと早い方がよかった
- ・夏前くらい

7) 講演に対する満足度

| | | | |
|-----|------|-------|-----|
| 満足 | やや満足 | やや不満足 | 不満足 |
| 20名 | 1名 | 1名 | 0名 |

理由： 満足

- ・レベルⅢの認証について理解できた
- ・内容と今後の取り組みが理解できた（2）
- ・具体的にどこから取り組めばよいかわかった
- ・各々のキャリアアップに悩みがあったため知りたい情報が得られた

8) 話題提供・グループディスカッションに対する満足度

| 満足 | やや満足 | やや不満足 | 不満足 | 無回答 |
|-----|------|-------|-----|-----|
| 17名 | 3名 | 0名 | 0名 | 2名 |

理由： 満足

- ・近隣病院と情報交換できた (2)
- ・他施設と交流できた
- ・些細な疑問・不明点が確認できた (2)
- ・他施設の現状が聞けた
- ・同じ立場の方と話し合える機会があってよかった
- ・具体的に自分なりに考えることができた

9) 全体（講演・全体討議）を通して、今後の管理業務に活かせる内容でしたか

| とても活かせる | やや活かせる | あまり活かさない | 活かさない |
|---------|--------|----------|-------|
| 19名 | 3名 | 0名 | 0名 |

理由： とても活かせる

- ・地域別としたことで搬送先の病院の師長と交流でき有意義なグループディスカッションだった

やや活かせる

- ・看護協会から病院看護部への説明もあると更に活かせる

10) この交流会は、今後の産科管理者同士のネットワーク作りに活用できるか

| とても活用できる | やや活用できる | あまり活用できない | 活用できない | 無回答 |
|----------|---------|-----------|--------|-----|
| 15名 | 4名 | 1名 | 0名 | 2名 |

理由： とても活用できる

- ・自施設だけではなく「顔の見える」交流が図れた

やや活かせる

- ・名簿としてもらいたかった

11) 今後、産科管理者交流会にて取り上げてほしいテーマは何ですか

- ・産科におけるPNS
- ・中堅助産師の離職防止
- ・ラダーⅢ認証の必修研修 (4)
- ・ラダーⅢ認証取り組みの途中での情報交換
- ・出向システム (2) (県内施設内での短期留学などの研修プログラム)
- ・フィジカルアセスメント研修を各病院で開催するには

12) 助産師職能委員会から千葉県看護協会に提言してほしいこと

- ・ラダーⅢ認証の必修研修会 (9) (オンデマンド研修でしてほしい、新人助産師研修会とは別にしてほしい)
- ・ラダーⅢ認証取得の必要性を説明してほしい
- ・認定看護師のようにアドバンス助産師の公認を看護協会としてアピールしてほしい
- ・中堅助産師の研修
- ・研修会の企画
- ・フィジカルアセスメントの研修を開催してほしい (2)

総括：タイムリーなテーマで参加者からの評価はおおむね良好であった。個人病院からの参加者がなく、参加者数が昨年より少なかった。開催時期が昨年より1か月以上遅く師走に入っていたこと、個人病院ではすでにラダーⅢをクリアしている助産師が多いと推測されることから、認証制度に対する関心が低かったのではないかということが考えられる。グループディスカッションの時間を十分にとり、地域別のグループとしたことはネットワークづくりの上である程度効果があった。名簿作成の希望があったが、個人情報管理を考慮すると難しい面もあるため、可能ならば名刺持参及び交換を呼びかけてもよかったかもしれない。ラダーⅢ認証の必修研修について看護協会で実施してほしいとの要望が多かった。また、看護部長の理解を深める説明を求める声もあった。来年度の認証申請者を増やすためにはこれらの意見を協会側に提言していく必要があると考えられる。

3. 平成26年度 中堅助産師交流会

日 時：平成27年1月29日（木） 13：00～16：30

場 所：千葉県看護会館 2階中研修室

テーマ：『質の高い助産ケアをめざして』

～子どもを亡くした女性と家族に伴走するケア～

趣 旨：流産・死産・新生児死亡等による周産期の喪失体験は母親や家族に大きな悲しみを引き起こす。そのため母親や家族に対する関わりは非常に重要である。近年ではグリーフワークの考え方が浸透し、児ときちんとお別れができるよう配慮する施設が増えている。しかしながら母親や家族への関わりは難しく、助産師はどのようにケアを進めていけば良いか悩み、ケアにあたる助産師にとっても精神的ショックやストレスを伴うものとなる。今回、神奈川県立こども医療センターに勤務し、ペリネイタル・ロスのケアを臨床の場で実践し研究もされている北園真希氏を迎え、子供を亡くした女性やその家族に寄り添うペリネイタル・ロスのケアについて考える機会とした。

プログラム（12：30～ 受付開始）

13：00～13：05 オリエンテーション

13：05～13：15 助産師職能委員長挨拶

13：15～14：45 講演「子どもを亡くした女性と家族に伴走するケア」

講師：地方独立行政法人 神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター母性病棟助産師 北園真希 氏

14：45～15：00 休憩

15：00～16：15 グループディスカッション

「自施設におけるペリネイタル・ロスのケアの現状と課題」

16：15～16：30 まとめ、アンケート記入終了

平成26年度 中堅助産師交流会アンケート集計結果

参加者23名

アンケート回収：19名/23名（回収率82.6%）

1) 年齢

| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4名 | 6名 | 7名 | 2名 | 0名 |

2) 勤務先の種類

| 総合病院 (産科単科病棟) | 総合病院 (産科混合病棟) | 産科個人病院 ・診療所 | 助産師養成機関 | その他 |
|------------------|---------------|----------------|---------|-----|
| 3名 | 12名 | 1名 | 2名 | 1名 |

<産科混合病棟内訳：婦人科1、女性診療科1、眼科・乳腺・小児1、他未記入>

3) 職位

| 師長 | 主任 | 副主任 | スタッフ | 教員 | その他 |
|----|----|-----|------|----|-----|
| 2名 | 3名 | 0名 | 12名 | 2名 | 0名 |

4) 助産師としての経験年数

| 1～3年 | 4～6年 | 7～10年 | 11～15年 | 16年以上 |
|------|------|-------|--------|-------|
| 1名 | 8名 | 1名 | 3名 | 6名 |

5) 開催時期は適当か

| はい | いいえ |
|-----|-----|
| 18名 | 1名 |

理由： はい

- ・ちょうどパンフレット作成中だった
- ・聞きたいことがある時期だった
- ・参加したいと思っていた
- ・年度の後半に行う事で次年度の取り組みに活かしやすい

いいえ

- ・何かとバタバタする時期なので

6) 講演についての満足度

| 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|-----|------|------|----|
| 19名 | 0名 | 0名 | 0名 |

理由： 満足

- ・自施設でのケアの可能性が広がった (2)
- ・課題が見えた (2)
- ・詳しく学んだ事が無かったので勉強になった (2)
- ・具体的なケアの内容・方法がわかった (2)
- ・今後に役立てたいと思った
- ・興味のある分野だった

7) グループディスカッションの満足度

| 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|-----|------|------|----|
| 18名 | 1名 | 0名 | 0名 |

理由： 満足

- ・様々な施設の方法や助産師の考えを知ることができた (6)
- ・様々な体験を共有できた (2)
- ・悩みに対してアドバイスをもらう事ができた

やや満足

- ・情報交換ができた
- ・講師への質問ができた

8) 全体（講演・グループディスカッション）は今後の助産師活動に活かせる内容だったか

| とても活かせる | やや活かせる | あまり活かせない | 活かせない |
|---------|--------|----------|-------|
| 17名 | 2名 | 0名 | 0名 |

理由： とても活かせる

- ・よい学びがたくさんあり活かせると感じた (3)
- ・課題が見えた (2)
- ・助産師としての経験が浅く自信が持てなかったが、みんなと話すことで自分たちの使命を自覚できた
- ・普段語る機会がないので有意義だった

やや活かせる

- ・制限はあるので、取り入れられる事を取り入れたい (2)

9) この交流会は、今後の助産師同士のネットワーク作りに活用できそうか

| はい | いいえ | どちらでもない |
|-----|-----|---------|
| 16名 | 0名 | 3名 |

理由： はい

- ・知り合えた
- ・助産師はこんなに仲間がいると実感できた
- ・違う年代や施設の人と話し合えるのはよい経験になった

どちらでもない

- ・短時間なので、この場限りで終わってしまいそう

10) 今後、助産師交流会で取り上げてほしいテーマは何か

- ・同様のテーマで、他のスタッフも参加して欲しい
- ・産科救急、新生児救急
- ・長期入院を強いられる妊婦のケア
- ・両親学級
- ・精神疾患のある妊産褥婦の看護

11) 助産師職能委員会に対する要望

- ・すばらしい交流会で、参加できた事に感謝

総括：参加者は、昨年度18名から今年度23名に増加した。参加者アンケートからは、満足度は高いと言えるが、まだまだ参加者増加の余地はある。今年度は講師との日程調整に時間を要し、アナウンスが遅れた経緯があるため、来年度は、より魅力的なテーマの検討とあわせて、アナウンスの時期も早めていく必要がある。

4. 「国際助産師の日」企画・開催

1) 日 時：平成26年5月17日（土）11：00～16：00

2) 会 場：アパホテル&リゾート・東京ベイ幕張

3) 内 容：今年度の『看護の日』のテーマに合わせ、『女性が今を健やかに過ごすために～ティーンからミドル・シルバー世代まで～』のテーマで、産科施設紹介に加えて、沐浴体験、マタニティ体験、育児便利グッズの紹介や災害時の便利グッズ、思春期教育の教材（子宮モデル・胎児モデル・DVDの視聴）の展示、更年期症状の情報提供を行った。

5. 「助産師が自立して助産ケアを行う体制づくり
ー助産師外来・院内助産のための助産マニュアルー」
助産外来・院内助産にむけた実践能力の標準化と質の向上に向けて、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期別のマニュアルの見直しを実施し、完成した。来年度、各施設に配布し普及を促す。

6. 千葉県看護協会事業への参加・協力
 - 1) 通常総会、役員会、理事会、施設代表者への出席
 - 2) 助産師出向支援モデル事業実施への支援

7. 平成26年度千葉県看護協会研修計画への提言

8. 日本看護協会事業への参加・協力
都道府県助産師職能委員会への出席、地区別都道府県助産師職能委員会への出席

Ⅲ 平成26年度助産師職能委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|----------------|--|---|
| 第1回 | 平成26年 7月24日 | 1. 委員会活動計画 2. 国際助産師の日の企画 3. クリニカルラダーについて 4. 助産師職能集会、産科管理者交流会、 中堅助産師交流会について | ・平成26年度年間計画の立案、役割分担 ・行事内容の検討 ・ラダーレベルⅢ認証制度について ・日程の調整、役割分担 |
| 第2回 | 8月27日 | 1. 第1回全国職能委員長会報告 2. 助産師職能集会の企画 3. 産科管理者交流会の企画 4. 中堅助産師交流会の企画 | ・全国職能委員長会の報告 ・プログラム、アンケートの検討 ・プログラムの検討、講師の選定 ・講師選定のリサーチ |
| 第3回 | 10月30日 | 1. 職能集会内容確認 2. 産科管理者交流会の企画 3. 中堅助産師交流会の企画 4. 平成26年度関東・甲信越地区助産師職 能委員会報告 | ・職能集会最終打ち合わせ ・内容検討・講師の決定 ・テーマ、内容の決定、講師依頼について ・助産師出向システム、クリニカルラダー レベルⅢ認証申請等についての報告 |
| 第4回 | 11月12日 | 1. 産科管理者交流会の内容確認 2. 中堅助産師交流会 3. 次年度予算計画 4. 国際助産師の日の企画 | ・プログラム、アンケートの確認 ・プログラム、アンケートの検討 ・平成27年度活動内容と予算の検討 ・国際助産師の日企画・検討 |
| 第5回 | 平成27年 1月29日 | 1. 中堅助産師交流会 2. 国際助産師の日の企画 | ・交流会最終打ち合わせ、役割分担 ・国際助産師の日企画・検討 |
| 第6回 | 3月19日 | 1. 第2回全国職能委員長会報告 2. 助産マニュアルの改訂 3. 国際助産師の日の企画 | ・全国職能委員長会の報告 ・マニュアルの見直し、改訂 ・国際助産師の日内容検討 |
| 第7回 | 3月27日 | 1. 平成26年度助産師職能委員会活動のま とめ 2. 平成27年度助産師職能委員会活動計画 3. 国際助産師の日の企画 | ・平成26年度活動内容のまとめ ・評価・平成27年度活動計画検討 ・国際助産師の日の詳細内容検討 |

IV 平成27年度 助産師職能委員会 活動計画

| 項 目 | 内 容 | 備 考 | |
|-------------|--|--|--|
| 活動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 県民の安全かつ安心な妊娠、出産、育児をめざし、助産師が、実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。 2. 会員相互の情報交換を図り、県内産科医療施設間の連携を強化する。 | | |
| 委員会開催予定 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産師職能委員会 年 6回程度 2. 三職能合同委員会 年 1回 | 委員7名 | |
| 検討事項及び方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 実践能力の向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 標準化と質の向上 <ol style="list-style-type: none"> ①助産師ラダーの推進（レベルⅢの申請に向けて） ②「助産師が自立して助産ケアを行う体制づくり」マニュアルの普及 ③周産期における感染管理の現状と課題の明確化 ④教育部への研修に関する提案 2. 専門性の発揮 <ol style="list-style-type: none"> (1) ラダー推進のための研修の提案・提言 (2) 混合ユニットマネジメント導入の推進 (3) 適正配置の検討 3. 県内の助産師職能の組織力の強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) キャリア及び施設の特性に応じた助産師の情報交換と交流の推進 (2) ネットワークの構築 (3) 助産師職能便りの発行 4. 国際助産師の日の企画・運営に関する検討 | 委員7名 | |
| 交流会等 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 産科病棟看護管理者交流会の企画・開催 2. 新人助産師交流会（新人助産師研修会への参画） 3. 中堅助産師交流会の企画・開催 | 10月下旬 1月下旬 | |
| 職能集会の持ち方 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度活動報告 2. 本年度活動計画 3. 講演会またはシンポジウム 4. 意見交換 | | |
| 三職能合同委員会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 三職能共通課題の検討 2. 職能集会の開催 3. 職能集会資料の作成 | 9月上旬 | |
| そ の 他 | 日本看護協会 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県看護協会助産師職能委員会活動状況報告 2. 日本看護協会助産師職能委員会活動に協力 3. 全国助産師職能委員長会議 年2回 4. 地区別法人会・都道府県助産師職能委員長会 年1回 | |
| | 印刷物等 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 職能集会資料 2. 「助産師が自立して助産ケアを提供するための体制づくり」マニュアル | |
| | その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県小児保健協会総会への参画 | |

看護師職能委員会

委員長 寺口恵子

I. 活動目標

1. 看護師職能が専門性を発揮しながらやりがいをもって働きつづけることができるよう、看護師職能が抱える課題に取り組む。
2. 看護の質向上を図るため、准看護師のスキルアップと進学を支援する。
3. 介護・福祉関係施設・在宅等領域と病院領域の看護の役割を考え、看護の質向上に向けた検討を行う。

II. 活動内容

1. 看護師職能集会

- (1) 日時 平成26年9月27日(土) 8:30~17:00
- (2) 会場 千葉県看護会館
- (3) テーマ 「生き活きと看護できるために」
- (4) ねらい
 - ① 看護師一人ひとりが自分に適したストレスマネジメントを身につける手がかりとして看護職のメンタルヘルスとストレスマネジメントを学ぶ。
 - ② 一人ひとりの看護師が職場で生き活き看護できる方法をともに考える。
- (5) 参加者数 46名
- (6) 内容
 - ・ 平成25年度看護師職能委員会活動状況報告並びに平成26年度活動計画
 - ・ 講演 「生き活き看護できるために」
ー看護職のためのメンタルヘルスとストレスマネジメントー
船橋市立医療センター 精神看護専門看護師 菅原 亜有美 先生
 - ・ グループワーク
「生き活き看護するためには？」 自分たちのストレス回避法を共有しよう！
- (7) 評価

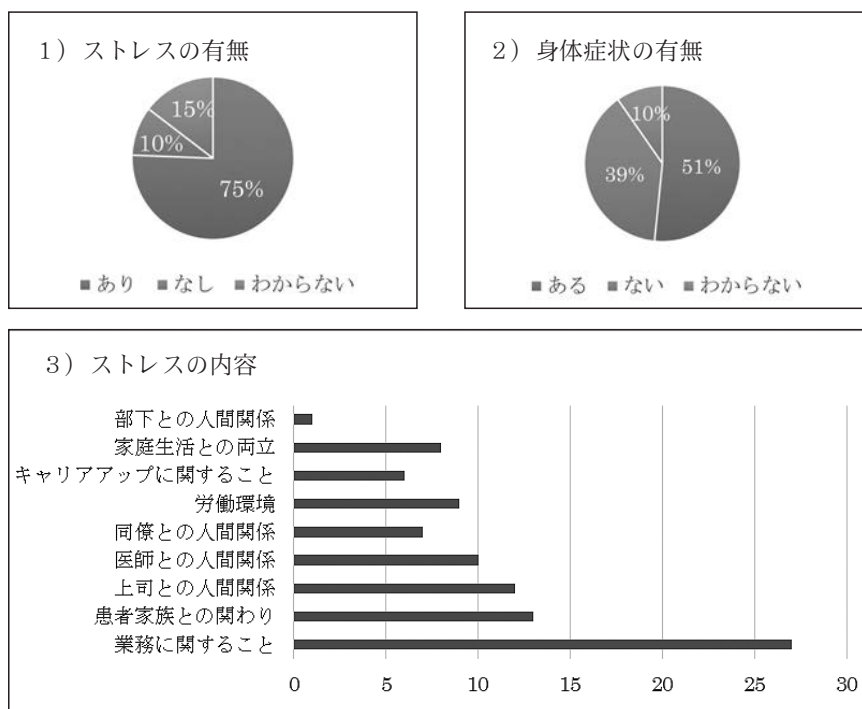
医療の場は、患者の権利の尊重、患者や家族との対話、組織内のコミュニケーションの問題、最先端の知識や技術の習得、リスク管理など、状況に応じた柔軟な対応が求められ、中でもとりわけ看護職のストレスは大きいとされている。日本看護協会の重点事業の中にも労働環境改善の推進でメンタルヘルスについて取り上げられている。今回の研修ではメンタルヘルスを取り上げたが、参加動機として「テーマに興味がある」が47%であり、テーマの有用性はあったと言える。

菅原先生による講演では、看護師とストレスについて、ストレスに打ち勝つレジリエンスという考え方について理解を深めることができた。

バーンアウト尺度を使用しての自己チェックや手軽に活用できるレジリエンスの方法など体験を通してリフレッシュできる講演であった。

グループワークでは、看護の現場でストレスとを感じる場面について、そのストレスをどう対処してきたか、楽しく働くために明日から行えることを一つ宣言しようというテーマで意見交換した。アンケート結果では、「違う立場の看護師と意見交換ができて良かった」「様々な立場のストレスがあることが分かった」などの意見があり、研修終了後に笑顔で帰る参加者の様子から、今回の研修のねらいは達成したと考える。

(8) アンケート結果 (回収率89.1%)



4) 講演内容は参考になったか

| | |
|-----|----|
| はい | 38 |
| いいえ | 0 |
| 無回答 | 3 |

5) 看護師が抱えるストレスについて理解は深まったか

| | |
|-----|----|
| はい | 38 |
| いいえ | 0 |
| 無回答 | 3 |

6) ストレスケアについて理解は深まったか

| | |
|-----|----|
| はい | 37 |
| いいえ | 1 |
| 無回答 | 3 |

7) 現場で実践できそうか

| | |
|-----|----|
| はい | 35 |
| いいえ | 1 |
| 無回答 | 5 |

2. 看護師交流会

- (1) 日時 平成27年2月14日 (土) 10:00~16:30
- (2) 会場 千葉県看護会館
- (3) テーマ 「地域包括ケアシステムの構築」 看護職が担う役割を考える
- (4) ねらい 平成26年6月に成立した「医療介護総合確保推進法」を踏まえて、今後の看護・介護の在り方について理解を深め、これからの看護職の役割について考える機会とする。
- (5) 参加者数 59名
- (6) 内容
 - ・講演 「超高齢社会の医療・介護の制度政策とこれからの動向」
～医療機能分化・地域法各ケアシステム～
公益社団法人日本看護協会 常任理事 福井 トシ子 先生
 - ・シンポジウム
「地域包括ケアシステムの構築」～千葉県の現状とこれからの動向～

① 千葉県の取り組みの現状

千葉県健康福祉部健康福祉政策課 主幹 館岡 聡 氏

② 市町村の取り組みの現状（準備状況）：千葉市の取り組み

千葉市保健福祉局高齢障害部高齢福祉課 介護予防・認知症担当課長 富田 薫 氏

③ 急性期病棟における取り組みの現状（準備体制）

谷津保健病院 副看護部長 鶴崎 美優希 氏

④ 療養病棟における取り組みの現状（準備体制等）

佐倉厚生園 看護部長 伊藤 恵美 氏

・グループワーク

「地域包括ケアシステムにおけるそれぞれの役割を考える」

(7) 評価

平成26年度診療報酬改定では、入院医療・外来医療を含めた医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等に取り組み、医療提供体制の再構築、地域包括ケアシステムの構築を図ることが打ち出された。しかし、各施設がそれぞれの役割について試行錯誤しているところであり、今回のテーマはタイムリーであり、近隣で同内容の研修が開催されていたが、多くの参加が得られた。

主任以上の中間管理者を対象としたことで、事前アンケートからは興味のあるテーマであり、其々課題をもって交流会に参加していることが伺えた。

福井理事の講演では、平成26年度診療報酬改定の経緯とポイント、医療介護総合確保推進法案について、入院医療の機能分化①7対1入院基本料の見直し②亜急性期等の「地域包括ケア病棟」新設、在宅医療の推進等の制度・政策について具体的内容の講演であった。講演の最後に「診療報酬改定により全てが在宅へ向かって流れているが、在宅の受け入れはどうか？急性期病院の看護職は、患者さんを受け入れる側の施設に対して、情報提供、資源共有すべきである。競争でなく資源を活用し合うことが必要な時代である。仕組みや制度、診療報酬で誘導されている事に体制を整えていく事は看護師の役割である。地域包括ケアシステムの中、それぞれの場でどう看護をつないでいくか？現場の看護管理者が顔の見える連携が必要となってくる。」とまとめてくださり、看護職の役割について考える良い機会となったと考える。

シンポジウムでは、それぞれの立場から現状と取り組みについて紹介していただき、千葉県の包括ケアシステム構築の現状について理解することができた。

(8) アンケート結果（回収率91.5%）

① 所属施設

| | |
|------------|----|
| 病院 | 48 |
| 診療所 | 0 |
| 老人福祉施設 | 1 |
| 老人保健施設 | 2 |
| 訪問看護ステーション | 2 |
| その他 | 1 |

② 職位

| | |
|-------|----|
| 看護部長 | 1 |
| 副看護部長 | 3 |
| 看護師長 | 21 |
| 主任看護師 | 15 |
| その他 | 14 |

③ 講演会の内容は参考になりましたか

| | |
|-----|----|
| はい | 54 |
| いいえ | 0 |

④ 医療機能の分化・地域包括ケアシステムについて、現状や課題について理解を深める機会となりましたか

| | |
|-----|----|
| はい | 54 |
| いいえ | 0 |

⑤ 地域包括ケアシステムについて、自施設の今後の方向性を考える機会となりましたか

| | |
|-----|-----|
| はい | 5 1 |
| いいえ | 1 |
| 無回答 | 2 |

3. 准看護師交流会

- (1) 日 時 平成27年1月24日（土）13:00～16:30
 (2) 会 場 千葉県看護会館
 (3) テーマ 「准看護師のステップアップ」
 (4) ねらい 1. 進学支援に必要な情報を提供し、進学への動機づけとする。
 2. 日常の看護技術についてスキルアップできる機会とする。
 (5) 参加者数 27名
 (6) 内 容

- ・講演 「認知症のケアについて」
 松戸ニッセイエデンの園 認知症看護認定看護師 窪田 妙子 先生
- ・看護師養成所における学習体験（全日制）
 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 林 恵子 氏
- ・グループワーク 「進学について考えよう」

(7) 評 価

講演の認知症ケアについては、アンケート結果から全員が興味を持っていると答えている。その理由として、参加者の病院や施設で認知症患者と接する機会が多いため、身近な問題としてその対応や知識を得ることができたと考えられ、有用であったと考える。

学習体験報告については、全日制については理解できたが、通信制の体験者の報告が急遽中止となったことで、通信制の体験談を聞きたかったという意見が多数あった。

グループワークにおいては、進学に対して活発な意見交換があり、特に通信制は経済面で負担が少ないため、通信制を考えている参加者が9名と多かった。

(8) アンケート結果（回収率88.9%）

① 講演内容は興味をもてましたか

| | |
|-----|-----|
| はい | 2 4 |
| いいえ | 0 |
| 無回答 | 0 |

② 看護師養成所における学習体験報告は参考になりましたか

| | |
|-----|-----|
| はい | 1 7 |
| いいえ | 2 |
| 無回答 | 5 |

③ 交流会はこれからの進路を決める上で参考になりましたか

| | |
|-----|-----|
| はい | 2 3 |
| いいえ | 0 |
| 無回答 | 1 |

④ 進学を希望しますか

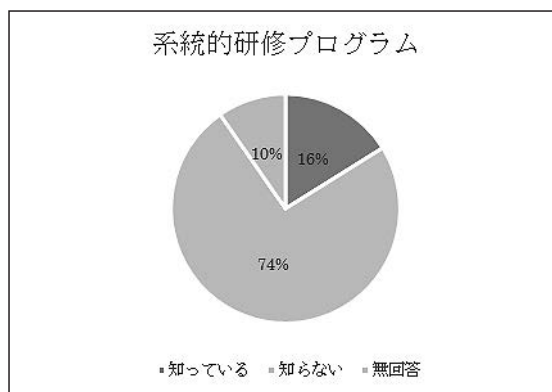
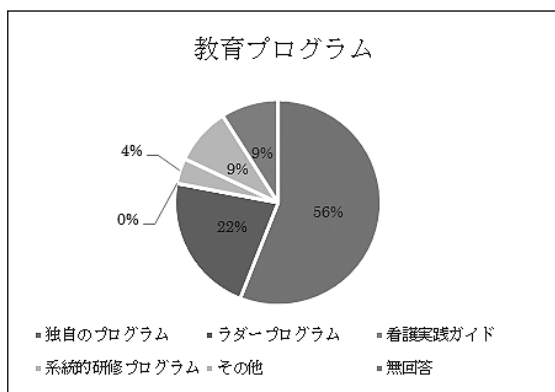
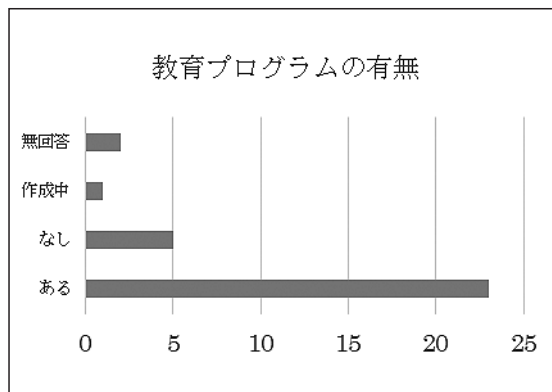
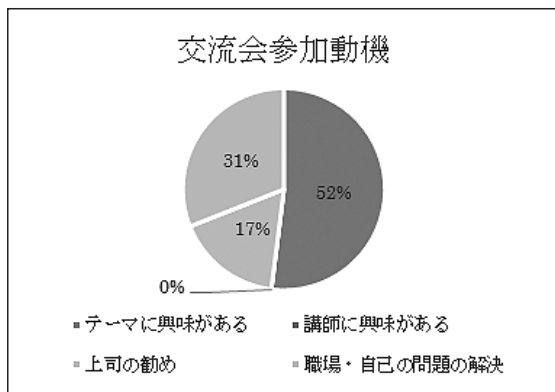
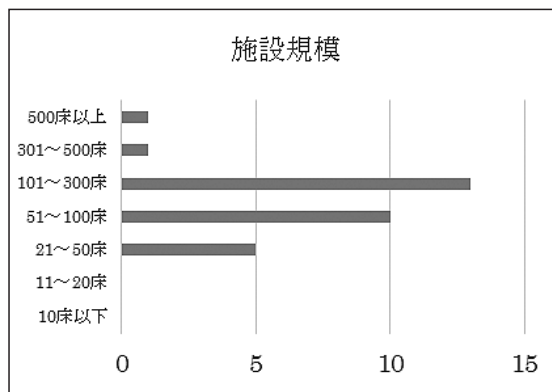
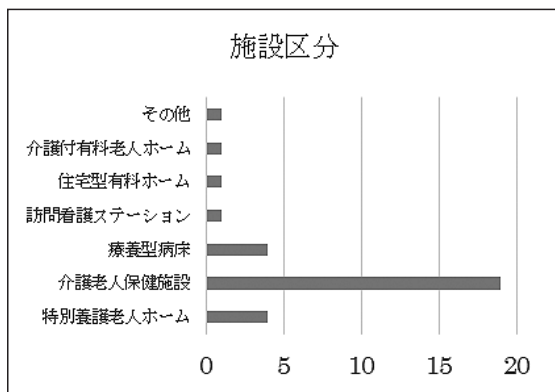
| | |
|-----|-----|
| はい | 1 3 |
| いいえ | 2 |
| 無回答 | 9 |

⑤ 「はい」方の進学方法

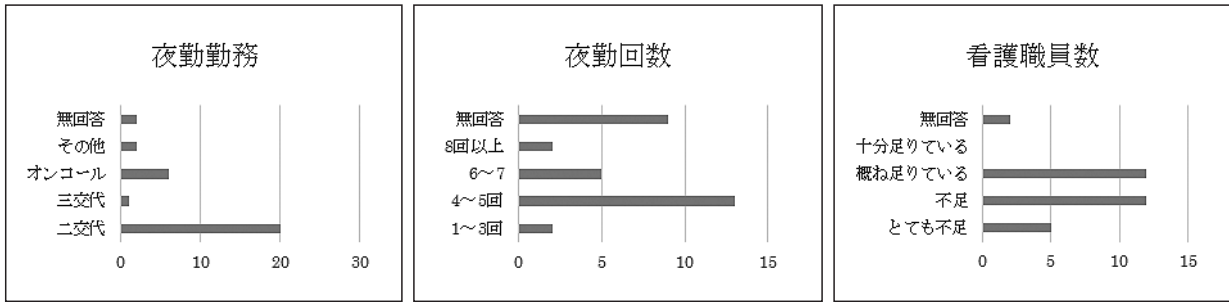
| | |
|-----|---|
| 全日制 | 3 |
| 通信制 | 9 |
| 無回答 | 1 |

4. 高齢者ケア施設看護管理者交流会

- (1) 日 時 27年2月18日（水）13:30～16:30
- (2) 会 場 千葉県看護会館
- (3) テーマ 「高齢者ケア施設における看護師の役割と看護の質向上について考える」
- (4) ねらい
 - 1. 高齢者の看護及び介護の質向上のため、他職種との協働と連携について学ぶことができる。
 - 2. 高齢者ケア施設で働く看護師の役割について学び、看護・介護職員の学習支援や教育に生かすことができる。
- (5) 参加者数 29名
- (6) 内 容
 - ・事前アンケート報告（31施設）



労働環境について



- ・講演 「高齢者ケア施設における看護師の役割と看護の質向上について考える」

社会福祉法人 吉田福祉会 統括看護係長 服部 美加 先生

- ・グループワーク 「介護施設における看護師の役割と課題について」

(7) 評価

今年度、看護師職能Ⅱ（介護・福祉管制施設・在宅等領域）の活動として、「高齢者介護施設で働く看護管理者交流会」の第1回目を開催した。

服部先生の講演では、高齢者ケア施設での看護組織の立ち上げから現在までの活動や特養での看取りについて、事例を通して見取りに対する看護職の役割、介護との連携等具体的にお話しいただいた。また、日本看護協会看護師職能委員会Ⅱの活動について紹介していただき、参加者からは「やりがいにつながられる内容で良かった」「管理者としてのあるべき姿、今後の楽しく過ごすかな光が見えた」「看取りについての内容が参考になった」などの意見が聞かれた。

グループワークでは、自施設の現状確認や多職種との連携や協働、介護職の教育など活発な意見交換があり、看護師が中心的な役割を担い、サービスを提供する要であることを認識する機会となった。

2025年問題に向け、看護職は地域包括ケアサービスの中心的役割を担う必要があり、今回の交流会では『施設で自然に死ぬ』ということについて、全人的にアプローチできる専門家である看護職が、介護職の教育や家族への意思決定支援についての役割を担っていることを認識する良い機会となったと考えられる。

協会施設543施設に通知したが、参加者が29名と少ない結果であり、アンケート結果からも看護師職能Ⅱ領域の設置について周知されていない現状が伺えた。

施設における管理者が看護職とは限らず、他職種が行っている施設もあることから、研修等の周知方法について工夫が必要と思われる。

Ⅲ 委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議題 | 内容 |
|-----|---------------|---|---|
| 第1回 | 平成26年 7月2日 | 1. 平成26年度年間計画作成 2. 委員の役割分担について 3. 看護職能集会について | ・平成26年度年間計画検討・作成 ・委員の役割・担当について ・看護職能集会の内容検討 |
| 第2回 | 8月6日 | 1. 看護師職能委員会Ⅱの立ち上げについて 2. 全国看護師職能委員長会報告 3. 看護職能集会について 4. 看護師・准看護師・高齢者施設看護管理者交流会について 5. その他 | ・看護師職能委員会Ⅱ立ち上げについて意見交換 ・全国看護師職能委員長会Ⅰ、Ⅱ領域の報告 ・看護職能集会の詳細内容検討 ・各交流会の企画検討 ・夜間・交替制勤務ガイドライン実態調査について検討 |

| | | | |
|-----|----------------|--|---|
| 臨時 | 9月27日 | 1. 看護師職能集会について 2. 看護師・准看護師交流会について | ・看護師職能集会最終打合せ ・各交流会進捗状況の確認 |
| 第3回 | 10月1日 | 1. 看護師職能集会について 2. 看護師・准看護師・高齢者施設看護管理者交流会について | ・看護師職能集会まとめ・評価（中間） ・各交流会の検討 |
| 第4回 | 12月3日 | 1. 看護師職能集会について 2. 看護師・准看護師・高齢者施設看護管理者交流会について 3. 看護職の夜間・交代制勤務に関する実態調査について 4. 平成27年度活動計画について 5. 地区別看護師職能委員長会報告 | ・看護師職能集会まとめ・評価 ・各交流会の内容検討 ・実態調査実施について検討 ・平成27年度目標、活動内容の検討 ・地区別看護師職能委員長会報告 |
| 臨時 | 平成27年 1月24日 | 1. 准看護師交流会について 2. 看護師・高齢者ケア施設看護管理者交流会について | ・准看護師交流会最終打合せ ・看護師・高齢者施設看護管理者交流会の日程・内容確認 |
| 第5回 | 2月18日 | 1. 高齢者施設看護管理者交流会について 2. 看護師交流会について 3. 准看護師交流会について 4. 平成27年度活動計画について | ・高齢者ケア施設で働く看護管理者交流会最終打合せ ・看護師交流会まとめ・評価 ・准看護師交流会まとめ・評価 ・平成27年度活動計画の検討 |
| 第6回 | 5月13日 | 1. 平成26年度まとめ・評価 2. 平成27年度活動計画について 3. 全国看護師職能委員長会報告 | ・平成26年度活動内容のまとめ・評価 ・平成27年度活動計画検討 ・全国看護師職能委員長会報告 |

Ⅳ 平成27年度 看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）活動計画

| 項目 | 内容 | 備考 |
|----------|--|----|
| 活動目標 | 1. 看護師が専門性を発揮しながらやりがいをもって働き続けることができるよう、看護師職能Ⅰ（病院領域）が抱える課題に取り組む。 2. 看護の質向上を図るため、准看護師のスキルアップと進学を支援する。 3. 看護師職能Ⅰ（病院領域）の看護の役割を考え、看護の質向上に向けた検討を行う。 | |
| 委員会開催予定 | 1. 看護師職能Ⅰ（病院領域）委員会 年 6回 2. 看護師職能Ⅰ（病院領域）・Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）合同委員会 必要時 3. 三職能合同委員会 必要時 | |
| 検討事項及び方法 | 1. 看護師職能Ⅰ（病院領域）の看護職が働き続けられる職場づくりを推進する。 2. 看護師交流会を通して、看護の質向上に対する課題を整理する。 3. 准看護師交流会を通して、准看護師のスキルアップと進学支援に対する課題を整理する。 4. 今後の交流会へのニーズ把握を行い、企画に反映する。 5. 看護師職能Ⅰ（病院領域）の看護師が抱える課題を整理する。 | |

| | | | |
|----------|--------|--|--|
| 職能集会交流会等 | | 1. 看護師職能Ⅰ（病院領域）集会 1回 2. 看護師交流会 1回 3. 第21回准看護師交流会 1回 | |
| その他 | 日本看護協会 | 1. 千葉県看護協会看護師職能Ⅰ（病院領域）委員会の活動状況報告 2. 日本看護協会看護師職能Ⅰ（病院領域）の調査活動に協力 3. 都道府県看護師職能委員長会 年2回 4. 地区別法人会・看護師職能委員長会 年1回 | |
| | 印刷物等 | 1. 職能集会資料 2. 交流会資料 3. その他 | |
| | その他 | 1. 千葉県看護協会事業への参加・協力 2. 千葉県小児保健協会理事会・総会への参画 | |

V 平成27年度 看護師職能Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）活動計画

| 項目 | 内容 | 備考 | |
|---------|---|--|--|
| 活動目標 | 1. 介護・福祉関係施設・在宅等領域の看護の役割を考え、看護の質向上に向けた取り組みを行う。 2. 千葉県内の介護施設の実態を把握し、Ⅱ領域の看護師職能が抱える課題を抽出する。 | | |
| 委員会開催予定 | 1. 看護師職能Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）委員会 年6回 2. 看護師職能Ⅰ（病院領域）・Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）合同委員会 必要時 3. 三職能合同委員会 必要時 | | |
| 活動内容 | 1. 看護師職能集会Ⅱの開催 2. 看護師交流会Ⅱの開催 3. 介護・福祉関係施設・在宅等領域の看護に関する実態調査 | | |
| その他 | 日本看護協会 | 1. 千葉県看護協会看護師職能Ⅱ委員会の活動状況報告 2. 日本看護協会看護師職能Ⅱの調査活動に協力 3. 都道府県看護師職能Ⅱ委員長会 年2回 4. 地区別法人会・看護師職能Ⅱ委員長会 年1回 | |
| | 印刷物等 | 1. 職能集会資料 2. 交流会資料 3. その他 | |
| | その他 | 1. 千葉県看護協会事業への参加・協力 2. 千葉県小児保健協会理事会・総会への参画 | |

日本看護協会関係報告

会長 星野 恵美子

法人会報告及び職能委員長会報告

I 法人会員会（全国）

1 平成26年度 第1回法人会員会

日時 平成26年5月9日(金) 14:00~16:00
場所 JNAホール
議題 (1) 新たな財政支援制度（基金）について
(2) 平成26年度都道府県医療介護連携調整実証事業に関する対応について
(3) 准看護師をめぐる最近の動き

2 平成26年度 第2回法人会員会

日時 平成26年7月25日(金) 14:30~16:00
場所 JNAホール
議題 (1) 新たな財政支援制度（基金）について
(2) 准看護師制度に関する動向について（～長野県と埼玉県の新たな准看護師養成校の動きに対する協会の取り組みの紹介～）
(3) 平成26年度地区別法人会員会・職能委員長会について

3 平成26年度 第3回法人会員会

日時 平成26年9月19日(金) 13:00~14:00
場所 JNAホール
議題 (1) 新たな財政支援制度（基金）について
(2) 平成26年度地区別法人会員会プログラムの修正について

4 平成26年度 第4回法人会員会

日時 平成26年11月21日(木) 15:30~16:00
場所 JNAホール
議題 (1) 准看護師制度に関する対応について

- (2) 地域包括ケアシステムの構築と推進について
- (3) 地域における看護政策力の強化対策について
- (4) ブロックごとの意見交換
- (5) 全体意見交換

5 平成26年度 第5回法人会員会

日時 平成27年2月27日(金) 14:00~16:00
場所 JNAホール
議題 (1) 医療介護総合確保推進法に基づく都道府県計画のとりまとめについて
(2) 地域医療構想ガイドラインの策定における看護関連団体のかかわり方について（質疑・意見交換）
(3) 「マイナンバー制度・ガイドライン」について（質疑・意見交換）

II 地区別法人会員会（関東甲信越地区）

日時 平成26年10月8日(水) 9:30~20:30
場所 ラフレさいたま
法人会員連絡会 9:30~13:15
各法人会員間の情報交換・連絡調整
法人会員会 13:30~18:00
議題

- (1) 新たな財政支援制度（基金）について
- (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けた都道府県看護協会の動きについて
- (3) 会員情報管理体制について
- (4) 准看護師制度について
- (5) NCCSの開発進捗状況報告について（報告）
- (6) 特定行為に係る看護師の研修制度について（報告）

懇親会 18:30~20:30

Ⅲ 全国職能委員長会報告

1 平成26年度第1回全国職能委員長会

日 時 平成26年8月1日(金) 10:00~16:00

場 所 青山ダイヤモンドホール

(全体会) 10:00~12:00 (ダイヤモンドルーム)

報告事項・質疑応答

- (1) 特定行為に係る看護師の研修制度について
- (2) NCCSの開発進捗状況について
- (3) 都道府県看護協会とのグループメールの運用について

講演「地域包括ケアシステムの構築について」

厚生労働省老健局老人保健課長 迫井 正深 氏

〈全国職能委員長会〉

〈保健師職能委員長会〉

13:00~16:00 (エメラルドルームⅠ)

議 題

- (1) 平成26年度日本看護協会保健師関連事業及び保健師職能委員会活動について
- (2) グループ討議
テーマ 「都道府県内で統括保健師の配置を進めるために、どのように活動しているか」
- (3) 講 演 「地域包括ケアシステムの構築に向けた保健師への期待」

国立保健医療科学院 統括研究官 勝又 浜子 氏

〈助産師職能委員長会〉

13:00~16:00 (エメラルドルームⅡ)

議 題

- (1) 都道府県看護協会と日本看護協会の連携について
- (2) 平成26年度助産師職能委員会について
- (3) 「助産師実践能力習熟度段階 (クリニカルラダー) 活用ガイド解説編」について

健康政策部助産師課 早川 ひと美 氏

- (4) 地区別グループ討議

「テーマ 助産実践能力習熟段階 (クリニカルラダー) レベルⅢ認証に向けて」

ファシリテーター：助産実践能力強化支援ワーキンググループ委員
助産師職能委員会 委員

〈看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域〉

13:00~16:00 (サファイヤルームⅠ)

- (1) 平成26年度看護師職能委員会Ⅰ 病院領域の活動方針について
- (2) 関連事業報告
「看護実践能力強化とその体制整備」について
- (3) 地区別グループ討議
「テーマ 在宅療養支援に対する病院看護職の活動に向けた課題」

〈看護師職能委員長会Ⅱ

介護・福祉関係施設・在宅等領域〉

11:30~16:00 (サファイヤルームⅡ)

議 題

- (1) 平成26年度重点政策・重点事業について
- (2) 平成26年度活動方針について
- (3) 関連事業報告
- (4) 特別講演
「平成26年度診療報酬改定」について
講師 日本看護協会 常任理事 福井 トシ子 氏
- (5) 問題提起
「平成26年度診療報酬改定が介護領域に与えた影響」について
滋賀県済生会地域包括ケアセンター長
九里 美和子 氏 (職能委員)
- (6) 地域別グループ討議 (情報交換)
「平成26年度診療報酬改定の影響と今後の対応」について

2 平成26年度第2回全国職能委員長会

日 時 平成27年3月6日(金) 10:00~16:00

場 所 青山ダイヤモンドホール

全体会 10:00~12:00 (ダイヤモンドルーム)

報告事項

- (1) 平成27年度重点政策・重点事業計画について
- (2) 特定行為に係る看護師の研修制度について
- (3) NCCSの開発進捗状況について

〈保健師職能委員長会〉

13:00~16:00 (エメラルドルーム I)

議 題

- (1) 平成26年度保健師職能委員会活動報告
- (2) 平成26年度事業報告 (保健師関連)
- (3) 保健師の活動基盤に関する基礎調査集計結果 (速報) について
- (4) 平成27年度重点政策・重点事業 (保健師関連)
- (5) グループ討議「保健師のキャリアパスについて考える」

〈助産師職能委員長会〉

13:00~16:00 (エメラルドルーム II)

議 題

- (1) 職能委員会のあり方と地区内連携について
- (2) 平成26年度助産師職能委員会活動報告
- (3) 平成27年度助産師関連事業報告 (重点政策、職能委員会活動方針について)
- (4) 「産科医療補償制度 新制度への移行について」 (仮)
- (5) グループ討議
「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルⅢ申請について

〈看護師職能委員長会 I 病院領域〉

13:00~16:00 (サファイヤルーム I)

議 題

- (1) 平成26年度看護師職能委員会 I 病院領域 活動報告
- (2) 平成27年度看護師職能委員会 I 病院領域 活動方針
- (3) 情報提供「看護師職能委員会の連携に向けた取り組み」
日本看護協会 常任理事 松月みどり 氏
- (4) 関連事業報告①「労働と看護の質向上のデータベース事業(DinQI)」について
- (5) 関連事業報告②「変化する医療提供体制に応じた看護師の多様なキャリア」について
- (6) グループ討議「1人1人の看護師がやりがいを持って働き続けるための支援」について

〈看護師職能委員長会 II

介護・福祉関係施設・在宅等領域〉

13:00~16:00 (サファイヤルーム II)

議 題

- (1) 平成26年度看護師職能委員会 II 活動報告
- (2) 平成26年度関連事業報告
- (3) 平成27年度重点政策・重点事業 (在宅看護関連) について
- (4) 平成27年度看護師職能委員会 II の活動方針について
- (5) 特別講演「平成27年度 介護報酬改定の概要」 について

講師 厚生労働省 老健局老人保健課長

迫井 正深 氏

- (6) グループ討議

「看取りケアに関する研修プログラムの普及・啓発に関する成果と今後の計画について」

IV 関東甲信越地区別・都道府県職能委員長会報告

平成26年度 地区別職能委員長会

日 時 平成26年10月9日 (木) 9:00~15:00

場 所 ラフレさいたま

各職能委員長会

(保健師職能委員長会)

報告事項 職能委員会報告

協議事項

- (1) 統括保健師の配置の推進について ~活動指針発出から1年半を踏まえて~
- (2) 地域包括ケアシステムの構築について
- (3) 都道府県内の保健師ネットワークの推進について

(助産師職能委員長会)

報告事項

- (1) 職能委員会報告
- (2) 厚生労働省看護職員確保対策特別事業「助産師出向支援モデル事業」について
- (3) 助産実践能力習熟度段階(クリニカルラダー)レベルⅢ申請に向けて

協議事項

- (1) 助産師の必要人数算出の考え方について情報交換
- (2) その他

(看護師職能委員長会 I 病院領域)

報告事項

- (1) 職能委員会報告
- (2) その他

協議事項

- (1) 病院領域における在宅療養支援の取り組みに関する情報交換
- (2) 看護師として専門性を発揮し続けるためのキャリア支援に関する情報交換
- (3) その他
 - ① 「病院における認知症患者の支援」に関する情報交換について
 - ② その他

(看護師職能委員長会 II

介護・福祉関係施設・在宅等領域)

報告事項

- (1) 職能委員会報告
- (2) 関連事業報告
 - ① 地区別高齢者ケア施設の看護管理者交流会の開催
 - ② 特別委員会「在宅で認知症の人を支えるための連携・協働に関する検討委員会」
 - ③ 特別委員会「在宅・介護領域における看護と介護の連携推進委員会」
 - ④ 訪問看護師養成コアカリキュラム及び指導要綱の試行・検証事業
 - ⑤ その他

情報提供

- (1) 介護報酬改定の議論の動向

協議事項

- (1) 平成26年度都道府県看護協会看護師職能委員会 II 委員会活動に関する情報交換と課題整理
- (2) 看取りケアに関する研修プログラムの普及啓発に関する検討
- (3) 地域で認知症の人を支えるための「病院と地域の連携・協働」に関する検討

常任委員会及び推薦委員会報告

教 育 委 員 会

委員長 増淵 美恵子

I 活動のまとめ

| | |
|-------|--|
| 諮問事項 | 超高齢社会を見据えた生涯教育の在り方 ・質の高い看護を提供するための人材育成 ・会員にとって魅力ある研修の検討 |
| 現状と課題 | 超高齢社会を見据え、病院等医療施設だけでなく、地域や福祉施設に勤務する看護職に対する人材育成の検討が必要である。そのためには、病院施設等以外で働く看護職の学習ニーズと今後急性期から地域へ活動の場を移す看護職が増える可能性を踏まえた教育ニーズを意識した研修内容の構築が急務である。そこで、昨年度の課題と諮問事項を踏まえ、以下の課題を検討していく。 1. キャリア形成するためにステップアップ研修の順序性が不明瞭であることや資格修得研修を提供する指針を再考する必要がある。 2. 千葉県看護協会の生涯教育研修計画は、日本看護協会の様な受講者の看護実践能力に応じた学習段階の設定とはなっていない。ジェネラリストのラダーに基づく活用については、ラダーの周知との関係があるため、今後の検討とする。 3. 看護研究学会を実施するにあたり、論文の選考等研究内容に係る作業を教育部が担うに難しい現状から、運営についての検討が必要である。 |
| 検討内容 | 〔検討内容・過程〕 〔委員会開催状況：5回開催〕 |
| 検討結果 | 本年度は、2年の諮問期間のうち課題2と3を中心に実施していくこととなった。また、地域や福祉施設に勤務する看護職が参加しやすい研修とするための広報の方法を提案することになった。 1. ステップアップ研修の順序性や資格修得研修提供の指針 この課題については、次年度以降に検討することになったが、本課題に関しては例えば地域の看護職に関連する研修内容をパッケージ化して提供する案などが提案された。 2. 学習段階に応じた研修会の設定 日本看護協会教育計画では、受講者の看護実践能力に応じた学習段階（Ⅰ～Ⅳ）が設定されており、看護職が自己の学習を積み重ねていける目安が示されている。個々の看護職が自分のキャリアアップを考え研修の選択ができるように千葉県看護協会の生涯教育研修計画を日本看護協会の学習段階にあてはめた案を教育部に提出したが、会員への周知不足のため、27年度生涯教育研修計画には提示されていない。 3. 看護研究学会の運営 千葉県看護研究学会規程に基づき、千葉県看護研究学会実行委員会が設置（設置要綱平成26年7月1日施行）され、大矢教育副委員長が教育委員会の代表として参加し、随時教育委員会に経過報告された。第33回千葉県看護研究学会は、平成27年2月20日アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホールで開催された。参加人数は420名で、大変盛況に開催された。学会テーマは「想いをかたちに 看護で未来につなげる」とし、特別講演はケアーズ代表取締役 秋山正子先生の「地域包括ケアの時代に～看護職に期待されること～」であった。今年度は、学会中に新しい試みとして、ミニレクチャー「看護研究のまとめ方」や看護研究支援（相談支援や文献検索等）の時間を設けた。教育委員会からは、論文評価基準を生涯教育研修計画冊子に掲載し、論文として求められる内容を共有する必要性を提案した。 |

| | |
|-------|--|
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ステップアップ研修の順序性や資格修得研修提供の指針については、主として次年度以降の検討課題とする。また、高齢社会、地域包括ケアの時代に対応できる研修のパッケージ化などを検討する。 2. 千葉県の看護職が自らキャリアデザインを構築でき、人材が定着するための、看護管理者への働きかけや教育提供のシステム（オンデマンド、ポートフォリオ、PBL等）を検討する。 |
|-------|--|

II 委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|----------------|---|---|
| 第1回 | 平成26年 7月24日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成26年度教育委員会諮問事項の確認と年間事業計画 2. 千葉県看護研究学会実行委員会について | <ol style="list-style-type: none"> 1. メンバー紹介後、諮問事項を確認する。地域や福祉施設に勤務する看護職の参加が少ないことから、参加しやすい内容や方法の検討を要する意見が述べられた。学習ニーズを把握するために既存の調査を検索するか、新たな調査を本年度実施するかを次回決定する。 2. 千葉県看護研究学会規程と同時実行委員会設置要綱の説明があり、教育委員会から大矢副委員長が選出された。 |
| 第2回 | 9月11日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 千葉県内看護職の学習ニーズと教育ニーズ把握と検討 2. 千葉県看護研究学会実行委員会報告 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職の学習ニーズに関しては、「千葉県で働く看護職者の研修ニーズ調査」（平成25年度千葉県看護師等スキルアップ研修事業調査結果報告書）で把握することができたので、新たに調査は実施しない。また、「介護施設における看護職のための系統的な教育プログラム」「介護施設の看護実践ガイド」（日本看護協会編）を参考に学習内容を確認した。今回は、教育ニーズを明らかにするために、千葉県保健医療計画、日本看護協会の平成26年度事業計画（教育研修計画）や特定行為に係る看護師の研修制度の動向を踏まえ、27年度以降の生涯教育研修計画を検討することになった。 2. 第1回目の実行委員会が開催され、学会テーマや特別講演の講師候補が挙げられた。また、学会日までの期間が短いので、本年は査読を実行委員で行なうことになった。 |

| | | | |
|-----|----------------|---|---|
| 第3回 | 11月13日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育ニーズの把握と検討 2. 千葉県看護研究学会実行委員会報告 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 齋藤教育部長から、次年度の研修計画の方針の説明がなされた。また、県の計画では、看護師の基礎教育の環境整備を重点にしており、卒後の教育への予算の配分は少なくないことがわかった。その他、本県の看護職が生涯教育研修計画を基に学習を積み上げるためには、自己選択・自己決定ができる仕組みが必要なことから、日本看護協会の教育計画と同様な学習段階設定を行なう意見でまとまった。 2. 第2回、第3回の実行委員会が開催された。発表演題数は、39演題となった。特別講演は、ケアーズ代表取締役 秋山正子先生「地域包括ケアの時代に～看護職に期待されること～」に決定した。その他、論文の書き方等のミニレクチャーを実施することになった。座長等の協力員や実行委員の当日の役割分担の検討を行なっている報告がなされた。教育委員の意見として、査読基準を生涯教育研修計画に記載すること、また査読基準を日本看護協会と同一の内容とする提案がなされた。 |
| 第4回 | 平成27年 1月15日 | 1. 27年度生涯教育研修計画を学習段階別に整理 | 平成27年度の生涯教育研修計画案を日本看護協会研修計画で示されている学習段階に併せて分類し、教育部に提出した。 |
| 第5回 | 2月26日 | 1. ステップアップ研修の順序性や資格修得研修提供の指針 | <p>来年度の計画について、パッケージの組み方を検討するために、意見交換を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問看護に関しては、研修内容によって、看護協会と訪問看護財団が分担できるとよい。 2. 就業場所は異なっても看護職として共通に必要な知識を研修に組み込み、研修方法（開催時間、場所等）の検討が必要である。 3. 就業場所が異なる看護職の交流機会を提案する。 4. 看護職自らがキャリアデザインを構築するために、看護管理者が人材育成の意識を持つ必要があり、施設代表者会等で働きかける。 5. 千葉県看護協会でもポートフォリオのフォーマットを作成することが提案された。 6. 県内で養成している看護学生の動向とその後の定着状況のデータがない。確保だけでなく定着を図ることが必要である。 7. 山梨県看護協会の研修のタイトルや「ねらい」のようにひきつける内容にすることや、オンデマンドやProject Based Learning（事前型学習）などを検討する。以上の内容を含めてパッケージ化することを次年度の検討課題とする。 |

労働環境改善委員会

委員長 伊藤 恵美

I 活動のまとめ

| | |
|--------------|--|
| <p>諮問事項</p> | <p>働き続けられる職場環境づくりを推進するための戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人常勤看護職員と全常勤看護職員の離職率の低減 ・ワーク・ライフ・バランスの推進 ・潜在看護職員の掘り起しと就業支援 |
| <p>現状と課題</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新人看護職常勤看護職員と全常勤看護職員の離職率の低減についての提言 2. ワーク・ライフ・バランスの推進 3. 潜在看護職員の掘り起しと就労支援 |
| <p>検討内容</p> | <p>〔検討内容・過程〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新人看護職常勤看護職員と全常勤看護職員の離職率の低減についての提言 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新人常勤看護職員の離職率の軽減（第1回8/5、第2回10/7、） <ol style="list-style-type: none"> ① 諮問事項および現状、課題について確認。 ② 新人看護師の離職理由と対策について検討 2. 新人看護職常勤看護職員と全常勤看護職員の離職率の軽減についての提言 <ol style="list-style-type: none"> (1) 全常勤看護職員の離職率の軽減（第3回11/5） <ol style="list-style-type: none"> ① 常勤看護職員の離職理由と対策について検討 3. ワーク・ライフ・バランスの推進について（第4回12/2） <ol style="list-style-type: none"> (1) 現状と課題、対策について検討 4. 潜在看護職員の掘り起しと就業支援について提案事項の検討（第5回2/3） <ol style="list-style-type: none"> (1) ナースセンター事業への提言 (2) 啓蒙のための標語やリーフレットの作成の検討 5. 潜在看護職員の掘り起しと就業支援について提案事項の検討（第6回3/3） <ol style="list-style-type: none"> (1) ナースセンター事業への提言 <p>【委員会開催状況：6回開催】</p> |
| <p>検討結果</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新人常勤看護職員の離職率の軽減 <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職率 大きな改善は見られていない。（常勤11.4%、新卒8.8%） ・辞めたいと思ったことのあるものが70%弱であり他業種に比べて多い。 <p>【具体策】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 離職率が低い施設の事例を公表。 (2) 新人のメンタルヘルスに関する取り組みを継続する。 (3) 職業継続支援におけるナースセンターの活用。 2. 全常勤看護職員の離職率の軽減 <p>【具体策】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) パワーハラスメント、セクシャルハラスメントなど職場環境や悩みに対応する相談システム構築する。（メールなどを活用する） (2) 管理者を対象とした労働環境改善に関するマネジメント研修の充実を図る。（勤務表作成セミナーなど） 3. ワーク・ライフ・バランスの推進について <ol style="list-style-type: none"> (1) 看護協会地区部会の研修会に「ワーク・ライフ・バランスについて」を必ず入れて浸透を促す。 (2) 推進事業に参加した施設の取り組みの伝達。 (3) ワーク・ライフ・バランスの標語・リーフレットを作成して啓発する。 (4) ナースセンター事業を充実させていく。看護師届出制度が始まることもあり、離職者へのさらなる対応が求められる。ナースセンターのメリットを明示し、認知度を高め、潜在看護師へのアプローチの充実を図っていく。 |

| | |
|-------|---|
| 今後の課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 潜在看護師の掘り起しに関する提言事項 2. 就業支援状況の把握 3. 啓蒙リーフレット作成への検討 4. ナースセンター事業の活性化に向けた見直し |
|-------|---|

II 委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|---------------|---|--|
| 第1回 | 平成26年 8月5日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成26年度委員会事業計画 2. 新人常勤看護職員の離職率の軽減 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 今まで委員会で話し合われた対策について理事より説明を受けた。 2. 平成26年度委員会事業計画を作成。 3. 過去2～3年の離職率のデータを確認。 |
| 第2回 | 10月7日 | 1. 新人常勤看護職の離職率の低減について提言事項の検討 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新人看護職員のメンタルヘルスに関する取り組みの継続。 2. 新人が辞めたいと思っている状況を管理職は早めに察知してナースセンターなどを活用するなど支援体制を整える。 3. 新人離職率の低い施設の成功事例を職能委員会を通し発表してもらう。 4. 教育体制を新人はどのように思っているか調査してはどうか。 |
| 第3回 | 11月5日 | 1. 常勤看護職の離職率の低減について提言事項の検討 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 離職の理由と対策の検討 ・ライフサイクルに合わせた勤務体制の検討。師長、主任のマネジメント力を上げる。 |
| 第4回 | 12月2日 | 1. ワーク・ライフ・バランスの推進について提案事項の検討 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 現状の課題と対策について検討 ・看護協会地区部会の研修会を活用しワーク・ライフ・バランス認識の浸透を促す。 ・推進事業に参加した施設の取り組みを伝える機会を作る。 2. ワーク・ライフ・バランスの標語による啓発の検討。 |
| 第5回 | 平成27年 2月3日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 潜在看護職員の掘り起しと就業支援についての提案事項の検討 2. 啓蒙のための標語やリーフレットの作成の検討 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ナースセンター事業を充実させていく。 2. リフレット案を作成。 |
| 第6回 | 3月3日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 潜在看護職員の掘り起しと就業支援についての提案事項の検討 2. 年間のまとめ | <ol style="list-style-type: none"> 1. ナースセンターの事業の実態を把握し、活性化に向けた取り組みをしていく必要がある。年間のまとめ |

医療安全委員会

委員長 小賀坂 好子

I 活動のまとめ

| | |
|-------|--|
| 諮問事項 | <p>安全な看護を提供するためにチーム医療を推進する戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療推進のための行政、関係機関等の連携 ・組織で取り組む安全文化の醸成 |
| 現状と課題 | <p>〔現状〕 医療安全推進対策の組織的な取り組みの推進</p> <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療を推進するための他職種との連携強化 ・行政を含めた関係関連との連携 ・医療安全を推進する組織体制づくり |
| 検討内容 | <p>〔検討内容・過程〕</p> <p>〔委員会開催状況：6回開催〕</p> <p>課題となるチーム医療の推進のための行政・関係機関等の連携づくりにつながる意見交換・情報の共有を図り、医療安全に関する意識向上及び県内ネットワーク構築の必要性について再認識した。</p> |
| 検討結果 | <p>1. より実効性の高い医療安全を確保するためには、組織で取り組むことが不可欠との観点から多職種が協働し連携強化できる意見交換を様々な職種間で実施した。また、「医療安全大会」を医療安全の普及方策の一つと捉え、大会の企画段階から企画・運営に参画した。具体的には、以下のとおり行った。</p> <p>(1) 大会テーマを「多職種連携で前進する医療安全」と題し幅広い見地から大会に向け意見交換を実施した。</p> <p>(2) 他職種連携に向け基調講演・パネルディスカッション・標語の選定・医療安全対策関連として企業展示等の企画・運営に関する提言を行った。</p> <p>(3) 大会が昨年に比べより多くの他職種の参加となるための方法を検討した。</p> |
| 今後の課題 | <p>医療安全に関する意識向上及び県内ネットワーク構築の必要性について具体的内容について検討する。</p> |

II 委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|----------------|--|--|
| 第1回 | 平成26年 7月31日 | <ol style="list-style-type: none"> 1 平成26年度諮問事項について 2 医療安全対策に関する現状と課題について 3 平成26年度事業計画について 4 その他（医療安全大会について） | <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成26年度諮問事項である～安全な看護を提供するためにチーム医療を推進する戦略～ <ul style="list-style-type: none"> ・チーム医療推進のための行政、関係機関等の連携 ・組織で取り組む安全文化の醸成について取り組むべき共通認識を持った。 2. 平成25年度に実施した県内医療機関における医療安全に係るアンケート結果の懸案となっている・医療安全に関する意識向上・県内ネットワーク構築という現状と必要性について再確認した。 3. 年間事業計画について第6回までの開催日を決定した。 4. テーマを「多職種で前進する医療安全」とし開催日・開催場所運営方法内容について審議した。 |
| 第2回 | 8月26日 | <ol style="list-style-type: none"> 1 平成26年度活動計画について 2 第10回医療安全大会（11/3）企画、運営について 内容の検討（パネルディスカッション関連企業等） 3 その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成26年度活動計画を立案し実施に向け検討した。 2. 医療安全大会実施に向け以下の事項について検討・決定した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基調講演座長 小賀坂委員長 (2) 基調講演は濱口哲也先生「医療版失敗学のすすめ」 (3) パネルディスカッションは他職種からの「失敗学」という視点で発表を依頼 (4) パネルディスカッション座長は龍野委員、箭内委員 (5) パネラーの推薦・依頼 (6) 企業展示等 3. 医療安全に関する標語の選定について応募された標語の第2次選定を実施した。 |
| 第3回 | 9月16日 | <ol style="list-style-type: none"> 1 チーム医療推進のための行政、関係機関等の連携について 2 第10回医療安全大会（11/3）企画、運営について 内容の検討 3 その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理者研修において薬事法の改正等チーム医療を推進するためには行政の動向を確認しながら柔軟な対応が必要との意見交換を実施した。また、平成25年度のアンケート結果の他職種によるネットワークづくりが現実化できるための働きかけとして多くの施設が医療安全対策加算の申請をめざし、既存の会議・研修会を活用し医療安全に関するネットワーク構築について広く周知する機会を設ける意見交換を実施した。 2. 企業展示は三浦委員・小坂委員の働きかけにより応募のあった7社と決定した。また具体的内容の確認を実施した。標語については、優秀賞 成田赤十字病院の医療安全推進室で決定した。ポスター等の作成進捗について確認した。 |

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|---------------|---|---|
| 第4回 | 10月23日 | <ol style="list-style-type: none"> 1 チーム医療推進のための行政、関係機関等の連携について 2 第10回医療安全大会（11/3）企画、運営について 内容の検討 3 その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全に関する職種間や施設間また医療機器における安全性に関する認識について意見交換を実施した。医療安全の教育において協働する職種との連携の重要性を再認識した。 2. 医療安全大会の進捗状況の確認、最終打合せを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・タイムスケジュール ・担当の再確認 ・大会10年目の歩みの展示 ・パネリスト資料の確認 ・参加申し込み者数460名また、他職種参加の申し込み等 3. 10月26日（日）実施される「医療事故調査制度」講演会の開催について報告があった。 |
| 第5回 | 12月4日 | <ol style="list-style-type: none"> 1 第10回医療安全大会について結果及び評価 2 第10回医療安全担当者交流会について 3 平成26年度委員会活動のまとめと次年度の課題 4 その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 多くの医療従事者の参加があり年々参加者の期待に応える内容に展開されてきたことが伺えた。一方企業展示の方法やパネルディスカッションについて事前準備に課題が残った。 2. 医療安全担当者の交流が十分実施できるための研修会内容について最終調整を実施した。主にグループ分け方法や研修の目的である活動内容の情報交換や課題について実施できるよう検討した。 3. 年間の活動を通じ委員間での医療安全について審議した内容を多職種に向け繋がる取り組みを継続し実施していきたいとのまとめとなった。委員会では看護協会を軸に医療安全活動を具体的に広げたいとの意見もあり方法を検討していきたい。 4. 来年度活動について1月中旬まで意見を申し出る。 |
| 第6回 | 平成27年 2月5日 | <ol style="list-style-type: none"> 1 平成26年度委員会活動のまとめ及び次年度の課題 2 第10回医療安全担当者交流会について 3 その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全に関する意識向上及び県内ネットワーク構築の必要性について同職種に限定せず、多職種との連携強化を委員会から継続的に周知に発信する。 2. 2月26日の研修会開催に向けスケジュール・グループ分け・ファシリテーター等に関する最終的確認を実施した。 3. 次年度医療安全週間に臨床工学技士会が活動内容を検討しているとの報告があった。 |

広 報 委 員 会

委員長 鈴木 眞奈美

I 活動のまとめ

| | |
|--------------|---|
| <p>諮問事項</p> | <p>県民に対する広報戦略 ・看護、健康に関する広報 ・協会事業に関する広報</p> |
| <p>現状と課題</p> | <p>課題 1. 県民に向けた広報戦略 2. 協会員に向けた広報戦略</p> |
| <p>検討内容</p> | <p>〔検討内容・過程〕 1. 県民に対する広報戦略 ・まちの保健室の広報戦略、県民向けのキーワード：「あなたを守ります。あなたを応援します」とし、具体策を検討。 2. 協会事業に関する広報 具体的に提案 〔委員会開催状況：6回開催〕</p> |
| <p>検討結果</p> | <p>1. 県民に対する広報戦略 ミニ情報カードの作成（A3、8枚折版） (1)表紙「まちの保健室とは」（地区部会名）、裏面：「あなたを守ります・応援します」開催日時一覧（千葉県看護協会名、HPアドレス）。P2～7までは、介護、生活習慣病、子育て、血圧測定・指導欄、ナースセンター情報、相談窓口等わかりやすい情報を発信する内容とする。 ※作成した情報カードの配布場所は、病院の待合室・市町村の保健センター窓口・学校の活用、研修等協会行事会場で配布する。 2. 協会事業に関する事業 (1)「看護ちば」掲載「医療安全シリーズ」を冊子化する。医療現場では、安全・安心の確認のために活用範囲が担保される。 (2)ネット社会を活用した広報戦略の検討 ツイッターやFacebookなどで県民の声が反映できるシステムがあると広報に役立つと考えられる。 (3)会員離れしないような広報 クーポン券制度等を取り入れる。（例えば、研修に3回参加すると看護協会特典—協会ロゴ入りUSBが貰える）</p> |
| <p>今後の課題</p> | <p>1. 具体的に広報誌作成によって、まちの保健室利用者の増員に繋げる。また、まちの保健室の利用者の年齢の統計をとり、広報戦略に繋げる。 2. 協会に興味を持てる広報を検討する。</p> |

II 委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|----------------|---|---|
| 第1回 | 平成26年 7月25日 | 1. 自己紹介 2. 常任委員会運営規定 3. 年間計画確認 4. 広報の現状と課題 | 1. 委員長選出（担当理事鈴木） 2. 報告書提出 3. 会議日程確認 4. 諮問事項 県民に対する広報戦略 |
| 第2回 | 9月12日 | 1. 県民に対する広報戦略 (1) 看護、健康に関する広報 (2) 協会事業に関する広報 | 1. 広報に関する問題点を抽出まちの保健室、看護の日は小規模範囲での活動の為、県民まで広報には繋がっていないことが現状にあり、どのように広報すればよいか検討する。 |
| 第3回 | 10月17日 | 1. 県民に対する広報戦略 (1) まちの保健室の活用の見直し | 1. 地区ごとでの活動の為、状況を把握して、広報内容を統一することを検討する。 2. 県民向けに小冊子を作成広報する |
| 第4回 | 11月28日 | 1. 中間報告 2. 県民に対する広報戦略 (1) 看護、健康に関する広報 (2) 協会事業に関する広報 | 1. ネット社会の活用 2. まちの保健室の活用 3. 雑誌、広報誌の活用 4. 学校、病院など広報範囲の拡大 |
| 第5回 | 平成27年 1月30日 | 1. 看護、健康に関する広報 2. 協会事業に関する広報 | 1. 具体的な広報活動を考えていく 2. まちの保健室の活動の見直し 3. 協会の活動報告 4. 相談室などの広報を具体的にする |
| 第6回 | 3月13日 | まとめ 1. 看護、健康に関する広報 2. 協会事業に関する広報 | 1. 具体的な広報として、小冊子を作成、まちの保健室の情報を取り入れ、健康増進に繋げる。 2. まちの保健室の利用者の年齢など統計をとり活用する。 |

会員増促進委員会

委員長 石井 久美子

I 活動のまとめ

| | |
|--------------|--|
| <p>諮問事項</p> | <p>会員を増やすための戦略 ・会員増の具体的方策 ・会員増を考慮した協会事業の進め方</p> |
| <p>現状と課題</p> | <p>1. 施設等会員代表者会による代表者へのアプローチ促進 2. 看護教育機関へのアプローチ促進 3. 精神領域へのアプローチ促進 4. 他の委員会との連携の必要性 5. 入会率の低い保健師職能への入会アプローチ促進</p> |
| <p>検討内容</p> | <p>[検討内容・過程] [委員会開催状況：6回開催] 1. ホームページの改善策の提案 2. 精神科領域へのアプローチ方法 3. 未継続者へのアプローチ方法 4. 入会率の低い領域へのアプローチ</p> |
| <p>検討結果</p> | <p>1. ホームページに対する提案について (1) 入会案内（パンフレット）を掲載し、施設等会員代表者会で代表者に向けて周知した。 (2) 入会特典ページ内に福利厚生サービス案内の設置とその通知。 (3) 認定看護師に関する情報提供のため、ホームページに日看協へのバナーを設置することを提案（答申事項）する。 2. 精神科領域へのアプローチについて 一般科と精神科が交流を持てる場（研修や交流会）を設けることや研修会受講の無料（お試し）チケットを配布するなど協会に興味を持ってもらうきっかけづくりの提案を答申事項とする。 3. 未継続者へのアプローチについて (1) 地区部会との連携の強化 4. 入会率の低い領域へのアプローチ (1) 職能委員会への働きかけの継続 (2) 保健師職能委員会が保健師向けのパンフレットを作成し、山田委員との連名で県健康福祉センターや市保健センターの保健師にメール等で配布した。 (3) 専門領域の関連団体と共催して研修会を実施し、入会案内やチラシを配布し、入会につなげることを答申事項とする。 5. その他 入会・再加入の大きなきっかけの一つである看護職賠償責任保険について、事例紹介を設けて加入を促す等、案内方法の改善を日看協に提案するとともに会報誌等で会員に周知する方策を検討する。</p> |
| <p>今後の課題</p> | <p>1. 施設等会員代表者会におけるアプローチ方法の検討 2. 看護教育機関へのアプローチ（継続） 3. 精神領域へのアプローチ（継続） 4. 他の委員会との連携（継続） 5. 入会率の低い保健師職能への入会アプローチ（継続） 6. 准看護師への入会の働きかけの検討 7. 会員になる可能性のある子ども世代（中学生・高校生）へのアプローチ</p> |

II 委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|----------------|---|--|
| 第1回 | 平成26年 8月28日 | 1. 所掌事務に関する現状と課題について 2. 平成26年度諮問事項について 3. 平成26年度活動計画について | 1. 前年度までの委員会活動についての説明と今年度の活動方針・内容についての検討。 |
| 第2回 | 9月25日 | 1. 会員増促進方法の検討 | 1. これまでの委員会活動を振り返りながら、現状の課題と入会促進方法を検討。 |
| 第3回 | 10月23日 | 1. ホームページに対する提案事項の結果 2. 精神領域へのアプローチの検討 3. 未継続会員へのアプローチの検討 | 1. 看護協会そのものや入会方法について周知する方法や、入会率の低い領域や未入会者への働きかけの方策を検討。 |
| 第4回 | 11月27日 | 1. 未入会者へのアプローチ方法の検討（継続） 2. 中間報告書の作成 | 1. 前回より引き続き、入会アプローチ方法を検討。 2. 第1～4回までの委員会活動内容のまとめを作成。 |
| 第5回 | 平成27年 1月22日 | 1. 未入会者へのアプローチ方法の検討（継続） | 1. 前回より引き続き、入会アプローチ方法を検討。 2. 代表者会の取組みや保健師職能委員会等との連携を報告。 |
| 第6回 | 2月26日 | 1. 事業実績報告書（年間まとめ）について | 1. 平成26年度の委員会活動内容のまとめや答申事項について検討。次年度の活動方針について。 |

推 薦 委 員 会

委員長 亀田 日出子

I 活動のまとめ

| | |
|------------------|---|
| <p>諮 問 事 項</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に改選する役員、職能委員、推薦委員の候補者の推薦に関する事 ・平成28年度公益社団法人日本看護協会総会代議員候補者の推薦に関する事 |
| <p>現 状 と 課 題</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度に改選する役員8名（副会長1名、専務理事1名、保健師職能理事1名、看護師職能理事〈領域Ⅱ〉1名、理事3名、監事1名）職能委員17名（保健師3名、助産師4名、看護師〈領域Ⅰ〉4名、看護師〈領域Ⅱ〉6名）、推薦委員7名について推薦する。 2. 平成27年度は、看護師職能を領域ⅠとⅡに区分され、新設されるⅡ領域に介護・福祉施設、在宅等から選任し推薦する。 3. 平成28年度公益社団法人日本看護協会総会代議員候補者について、平成26年12月31日現在の会員数で27名と算出され調整を行った。平成27年3月にすべての候補者が出そろい推薦する。 |
| <p>検 討 内 容</p> | <p>〔委員会開催状況〕 5回開催その他随時、役割分担の進捗状況をメールで報告し合うことで、各委員の積極的な活動につなげることができた。</p> <p>〔検討内容・過程〕 諮問事項について年間計画を立案し、役割分担をし、進めた。</p> |
| <p>検 討 結 果</p> | <p>平成27年度の改選は、役員8名、職能委員17名、推薦委員7名であり、32名すべての推薦を上げることができた。今回、看護師領域Ⅱの新設があり、多数の推薦者の選出となったが、1月の段階ではほぼ推薦者を決定することができた。しかし最終段階で、看護師Ⅱ領域の人選に苦慮する結果となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度に改選する役員8名（副会長1名、専務理事1名、保健師職能理事1名、看護師職能理事〈領域Ⅱ〉1名、理事3名、監事1名）職能委員17名（保健師3名、助産師4名、看護師〈領域Ⅰ〉4名、看護師〈領域Ⅱ〉6名）、推薦委員7名について推薦した。 2. 平成28年度公益社団法人日本看護協会総会代議員候補者について、平成26年12月31日現在の会員数で27名と算出された。地区部会の協力を得て、合計54名の代議員・予備代議員候補者の推薦を行った。 |
| <p>今 後 の 課 題</p> | <p>看護師領域Ⅱは会員施設数及び会員数が少ない。更に現場は、委員等を引き受けるゆとりもない状況のため、推薦者の人選はかなり厳しいものがある。今後は、同領域から推薦委員を選出することによる人脈の活用や看護協会のバックアップが交渉には必須である。また、看護協会として、会員拡大の推進活動がさらに求められているといえる。</p> |

II 委員会開催状況

| 回数 | 開催月日 | 議 題 | 内 容 |
|-----|----------------|---|--|
| 第1回 | 平成26年 8月29日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 推薦委員会の役割について 2. 委員長・副委員長・書記の選出について 3. 諮問事項について 4. 年間活動計画の作成について | <ol style="list-style-type: none"> 1. 諮問事項、委員会規定の確認 2. 委員長・副委員長・書記の決定 3. 年間活動計画の立案 4. 活動の方向性と役割分担 |
| 第2回 | 10月23日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 現任役員再任の意向について 2. 候補者推薦にあたって今後の方針・方策についての検討 3. 平成28年度日本看護協会代議員選出について | <ol style="list-style-type: none"> 1. 現任役員再任の意向伺いの確認 2. 役員・職能委員候補者の人選と役割分担 |
| 第3回 | 12月17日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員・職能委員・推薦委員候補者の選出状況について 2. 今後の候補者推薦にあたっての調整等について | <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員・職能委員・推薦委員候補者の選出状況 2. 今後の候補者推薦にあたっての人選と検討 |
| 第4回 | 平成27年 1月15日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員・職能委員・推薦委員候補者の選出状況について 2. 今後の候補者推薦にあたっての調整等について 3. 平成28年度日本看護協会代議員選出について | <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員・職能委員・推薦委員候補者の選出状況 2. 今後の候補者推薦にあたっての人選と検討 3. 会員数の確認、地区と職能割合の確認 4. 活動報告（今後の課題について）の検討 |
| 第5回 | 3月19日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員・職能委員・推薦委員候補者の最終確認について 2. 活動報告書のまとめ | <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員・職能委員・推薦委員候補者の最終決定 2. 活動報告書作成と承認 |

特別委員会報告

ナースセンター運営委員会

委員長 星野 恵美子

本委員会は、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」第15条の規定に基づいたナースセンター事業について、協議することを目的として設置している。本年度は、12名の委員で1回開催した。

議事は、前年度の事業実績と本年度の事業計画についてのうち、再就業につなげる合同就職説明会は、地区ごとに実施することで当センターが求職・求人双方のきっかけの場となっているとの意見があった。

平成27年10月から努力義務化される「看護師等の離職時における届出制度」について協議した。

この制度導入による再就業支援のための環境整備等の意見交換がなされ、特に細かく働きかける就業相談推進アドバイザー増員の提案がなされた。

また、届出制度に伴う既存事業の充実・拡大、適切な情報提供の啓発活動等新たな周知を含めたナースセンター事業運営、機能の充実についての示唆が得られた。

認定看護管理者制度教育課程運営委員会

委員長 石渡 祥子

本委員会は、千葉県看護協会認定看護管理者制度教育課程規程（以下運営規程）に基づき、教育課程の目的を達成するために企画・運営及修了審査に関する審議機関として設置されている。

平成26年度の委員構成は、教育関係者5名、看護管理者2名、協会関係者2名の合計9名である。委員会開催は4回で、審議・報告事項は以下のとおりである。

【第1回 平成26年7月3日】

- 1 平成26年度第14回認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程（以下セカンドレベル）について（受講選考・決定）
- 2 平成25年度第13回セカンドレベルの看護管理実践報告会について
- 3 特別休暇の取り扱いについて

【第2回 平成26年9月11日】

- 1 平成26年度第33回認定看護管理者制度ファーストレベル（以下ファーストレベル）教育課程について（修了審査）
- 2 平成26年度第14回セカンドレベルについて
- 3 平成25年度第13回セカンドレベル修了者の看護管理実践報告会について
- 4 認定看護管理者制度教育課程運営規程、細則及び募集要項について

【第3回 平成27年1月15日】

- 1 千葉県看護協会認定看護管理者制度教育課程運営規程細則改訂（案）
ならびに千葉県看護協会認定看護管理者制度運営委員会細則改訂（案）について
- 2 平成26年度第14回セカンドレベル修了審査について
- 3 平成27年度教育プログラム等について
- 4 認定看護管理者教育機関審査について

【第4回 平成27年4月14日】

- 1 平成27年度第34回ファーストレベルの受講決定について
- 2 平成27年度ファーストレベル・セカンドレベルの教育課程のカリキュラムについて
- 3 認定看護管理者制度教育課程規程、細則について

【26年度実績】

- 1 第33回ファーストレベル開催（6/13～7/23）
修了者95名（受講者全数）
- 2 第14回セカンドレベル開催（9/8～11/27）
修了者30名（受講者全数）
- 3 第13回セカンドレベル修了者の看護管理実践報告会開催(H26.10.21)
修了生30名中28名
- 4 基準カリキュラム改正に伴う、本会の運営規程及び細則の改定を行った。

メ 毛

Handwriting practice area with 20 sets of horizontal lines. Each set consists of a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line.

平成27年度 千葉県看護協会会長表彰

| 氏 名 | 施 設 名 | 氏 名 | 施 設 名 |
|-----------|--------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 阿 部 礼 子 | 千葉大学医学部附属病院 | 高 澤 千 佳 | 社会福祉法人恩賜財団済生会千葉県済生会習志野病院 |
| 今 関 文 子 | 千葉大学医学部附属病院 | 湊 美 輪 | 社会福祉法人恩賜財団済生会千葉県済生会習志野病院 |
| 奥 朋 子 | 千葉大学医学部附属病院 | 小 林 順 子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院 |
| 竹 本 真 美 | 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター | 海 老 原 光 子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院 |
| 三 上 美 和 子 | 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター | 菅 原 史 子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院 |
| 石 田 優 美 | 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター | 中 村 実 香 | 独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院 |
| 桐 戸 綾 子 | 千葉市立青葉病院 | 鈴 木 と く 子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院 |
| 松 尾 恵 | 千葉市立青葉病院 | 池 田 菊 子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構船橋中央病院 |
| 中 岡 由 美 子 | 千葉市立青葉病院 | 滝 口 阿 由 美 | 公益財団法人復光会 総武病院 |
| 石 井 政 美 | 千葉市立青葉病院 | 篠 宮 歩 美 | 公益財団法人復光会 総武病院 |
| 伊 波 晶 子 | 千葉市立青葉病院 | 大 野 幸 子 | 公益財団法人復光会 総武病院 |
| 石 塚 尚 絵 | 社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会千葉健生病院 | 馬 渕 史 子 | 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院 |
| 清 水 千 春 | 千葉県救急医療センター | 古 谷 あ ゆ み | 東京歯科大学市川総合病院 |
| 渡 辺 優 子 | 千葉県救急医療センター | 武 田 峰 子 | 東京歯科大学市川総合病院 |
| 小 安 麻 子 | 千葉県救急医療センター | 小 薮 江 知 恵 | 市川市民診療所 |
| 品 村 弘 子 | 医療法人社団普照会井上記念病院 | 今 野 眞 理 | 公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・ 浦安市川医療センター |
| 白 鳥 和 子 | 重症心身障害児施設千葉市桜木園 | 近 藤 由 利 子 | 公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・ 浦安市川医療センター |
| 茂 木 恵 美 | 千葉県がんセンター | 和 田 け い 子 | 国保松戸市立病院 |
| 柳 沢 由 香 理 | 千葉県がんセンター | 森 美 津 江 | 国保松戸市立病院 |
| 西 弘 美 | 千葉県がんセンター | 砂 田 広 子 | 国保松戸市立病院 |
| 鬼 澤 福 美 | 独立行政法人国立病院機構千葉東病院 | 大 塚 朋 子 | 国保松戸市立病院 |
| 米 川 敦 子 | 独立行政法人国立病院機構千葉東病院 | 石 橋 喜 富 美 | 国保松戸市立病院 |
| 石 井 富 美 枝 | 独立行政法人国立病院機構千葉東病院 | 清 野 淳 子 | 国保松戸市立病院 |
| 國 分 桂 子 | 独立行政法人国立病院機構千葉東病院 | 芝 崎 絵 里 | 国保松戸市立病院 |
| 小 澤 聖 子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構千葉病院 | 大 宮 秀 美 | 国保松戸市立病院 |
| 丸 茂 美 智 子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構千葉病院 | 檜 垣 眞 理 子 | 成田赤十字病院 |
| 山 中 由 美 子 | 独立行政法人地域医療機能推進機構千葉病院 | 仁 部 芳 枝 | 成田赤十字病院 |
| 實 川 圭 美 | 医療法人社団誠馨会千葉メディカルセンター | 稲 葉 麻 美 | 成田赤十字病院 |
| 手 島 朋 美 | 医療法人柏葉会柏戸病院 | 飯 田 恒 幸 | 成田赤十字病院 |
| 内 野 洋 子 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター | 渡 辺 正 子 | 成田赤十字病院 |
| 荒 井 菜 穂 美 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター | 黒 川 眞 弓 | 成田赤十字病院 |
| 本 谷 達 史 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター | 圖 司 行 克 | 成田赤十字病院 |
| 平 田 由 美 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター | 伊 藤 弥 生 | 社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷佐倉市民病院 |
| 越 野 明 子 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター | 福 田 浩 子 | 印旛健康福祉センター |
| 山 崎 明 子 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター | 佐 野 幸 枝 | 独立行政法人国立病院機構下志津病院 |
| 田 嶋 千 佳 子 | 千葉県千葉リハビリテーションセンター | 江 口 千 帆 | 独立行政法人国立病院機構下志津病院 |
| 御 園 ル ミ | 千葉労災看護専門学校 | 松 村 由 美 | 独立行政法人国立病院機構下志津病院 |
| 扱 木 千 夏 | 社会福祉法人恩賜財団済生会千葉県済生会習志野病院 | 関 眞 理 子 | 医療法人積仁会島田総合病院 |

| 氏名 | 施設名 | 氏名 | 施設名 |
|-------|-------------------|-------|------------------------|
| 篠塚昌子 | 千葉県立佐原病院 | 大倉茂美 | 国保直営総合病院 君津中央病院 |
| 鎌形喜枝 | 千葉県立佐原病院 | 前田栄子 | 国保直営総合病院 君津中央病院 |
| 香取智子 | 千葉県立佐原病院 | 塚原紀美子 | 国保直営総合病院 君津中央病院 |
| 池田美代子 | 千葉県立佐原病院 | 宇田川尚美 | 国保直営総合病院 君津中央病院 |
| 大竹涼子 | 千葉県立佐原病院 | 佐久間和美 | 君津中央病院附属看護学校 |
| 江波戸幸子 | 千葉県立佐原病院 | 鈴木留美子 | 医療法人社団養真会上総記念病院 |
| 大川あさ子 | 総合病院国保旭中央病院 | 和田久美子 | 医療法人社団養真会上総記念病院 |
| 平山千歳 | 総合病院国保旭中央病院 | 藤崎直美 | 国保直営君津中央病院大佐和分院 |
| 宮内悦子 | 総合病院国保旭中央病院 | 古内直美 | 社会福祉法人太陽会安房地域医療センター |
| 高野寿子 | 総合病院国保旭中央病院 | 児玉一世 | 安房健康福祉センター |
| 土古隆子 | 総合病院国保旭中央病院 | 太田さよ子 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 越川幸子 | 総合病院国保旭中央病院 | 池田晴美 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 伊藤佳津子 | 総合病院国保旭中央病院 | 富永恵美子 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 宇井利枝子 | 総合病院国保旭中央病院 | 川田美保子 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 石井民枝 | 総合病院国保旭中央病院 | 秋葉一枝 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 椎名明美 | 総合病院国保旭中央病院 | 渡辺結花 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 高木裕子 | 総合病院国保旭中央病院 | 吉田広美 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 鈴木裕美 | 国保匝瑳市民病院 | 綿貫寿子 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 小川幸子 | 国保匝瑳市民病院 | 佐々木真弓 | 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 |
| 伊藤幸江 | 国保小見川総合病院 | 新井淳子 | 学校法人鉄蕉館亀田医療技術専門学校 |
| 加藤婦美枝 | 国保小見川総合病院 | 石井正郎 | 医療法人光洋会 三芳病院 |
| 菅谷美重子 | 国保小見川総合病院 | 飯田玲子 | 公益財団法人日産厚生会佐倉厚生園病院 |
| 神田祥子 | 国保小見川総合病院付属看護専門学校 | 太田路代 | 公益財団法人日産厚生会佐倉厚生園病院 |
| 宇井恵子 | 国保小見川総合病院付属看護専門学校 | 木島智穂 | 船橋市立医療センター |
| 安部博美 | 東陽病院 | 小松邦子 | 船橋市立医療センター |
| 高松洋子 | 地方独立行政法人さんむ医療センター | 栗原規美世 | 船橋市立医療センター |
| 戸井和子 | 地方独立行政法人さんむ医療センター | 牛嶋稔博 | 千葉市立海浜病院 |
| 村井妙子 | 地方独立行政法人さんむ医療センター | 宮真由美 | 千葉市立海浜病院 |
| 増田由美子 | 地方独立行政法人さんむ医療センター | 小林久美 | 千葉市立海浜病院 |
| 山本早百合 | 地方独立行政法人さんむ医療センター | 山田明美 | 千葉市立海浜病院 |
| 石井ひろみ | 公立長生病院 | 大代恵子 | 千葉市立海浜病院 |
| 羽山礼子 | 国保直営総合病院 君津中央病院 | 小野寺幹 | 千葉市立海浜病院 |
| 横関泰子 | 国保直営総合病院 君津中央病院 | 鶴沢淳子 | 学校法人鉄蕉館 亀田医療大学 |
| 高梨直子 | 国保直営総合病院 君津中央病院 | 加藤久美子 | 医療法人新都市医療研究会君津会玄々堂君津病院 |
| 黒澤奈保子 | 国保直営総合病院 君津中央病院 | 萩原桂 | 医療法人新都市医療研究会君津会玄々堂君津病院 |
| 渡辺かおる | 国保直営総合病院 君津中央病院 | 石井ルミ | 医療法人新都市医療研究会君津会玄々堂君津病院 |
| 大岩和栄 | 国保直営総合病院 君津中央病院 | 永塚藍 | 医療法人新都市医療研究会君津会玄々堂君津病院 |
| 鈴木佳緒利 | 国保直営総合病院 君津中央病院 | 阿部美樹 | 医療法人新都市医療研究会君津会玄々堂君津病院 |

| 氏名 | 施設名 | 氏名 | 施設名 |
|---------|-------------------------------|---------|------------------------------------|
| 西 ユリエ | 医療法人新都市医療研究会君津会々々堂君津病院 | 保 科 百 重 | 介護老健施設シルバーハピネス |
| 服 部 美由紀 | 医療法人新都市医療研究会君津会々々堂君津病院 | 造 田 泰 子 | 千葉県循環器病センター |
| 中 尾 薫 | 医療法人新都市医療研究会君津会々々堂君津病院 | 田 中 正 和 | 千葉県循環器病センター |
| 西 郷 弘 子 | 千葉県精神科医療センター | 戸 田 る り | 医療法人社団千葉県勤労者医療協会 介護老人保健施設まくはりの郷 |
| 白 石 央 子 | 帝京大学ちば総合医療センター | 三 浦 美樹子 | 島田台病院 |
| 高 浦 道 代 | 帝京大学ちば総合医療センター | 峯 由 紀 子 | 公益財団法人復光会介護老人保健施設 やすらぎ |
| 長谷川 多佳子 | 帝京大学ちば総合医療センター | 馬 場 裕 子 | 公益財団法人復光会介護老人保健施設 やすらぎ |
| 壇 美 香 | 帝京大学ちば総合医療センター | 高 橋 恵 子 | ふたわ訪問看護ステーション |
| 松 野 裕 子 | 東京慈恵会医科大学附属柏病院 | 鴨 井 真 弓 | 一般財団法人 銚子市医療公社 |
| 千 田 操 | 東京慈恵会医科大学附属柏病院 | 柏 熊 真 理 | 東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター |
| 渡 部 洋 子 | 医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院 | 小 宮 孝 子 | 訪問看護ステーションそよかぜ |
| 小 野 明 子 | 医療法人社団恵仁会セントマーガレット病院 | 廣 島 直 美 | 千葉県市青葉看護専門学校 |
| 山 内 早 苗 | 医療法人社団誠馨会総泉病院 | 中 嶋 和 子 | 千葉県市青葉看護専門学校 |
| 室 井 美代子 | 医療法人社団一心会初富保健病院 | 山 崎 奈緒美 | 介護老人保健施設そうさぬくもりの郷 |
| 浅 水 才 子 | 医療法人社団一心会初富保健病院 | 友 野 和 江 | 柏市保健所 |
| 川 島 幸 | 千葉県こども病院 | 小 林 八重子 | 千葉県衛生研究所仁戸名庁舎 |
| 関 谷 久 仁 | 千葉県こども病院 | 江 川 知 子 | 東京女子医科大学八千代医療センター |
| 佐 藤 厚 子 | 千葉県こども病院 | 阿 部 施 子 | 医療法人社団輝生会船橋市立リハビリテーション病院 |
| 藤 田 祐 子 | 千葉県こども病院 | 地 主 貴美恵 | 社会医療法人社団木下会 介護老人保健施設シルバークア常盤平 |
| 疋 田 文 子 | 千葉県こども病院 | 米 本 幸 代 | 季美の森リハビリテーション病院 |
| 八 島 栄 子 | 千葉県こども病院 | 高 橋 直 子 | 医療法人社団鼎会三和病院 |
| 川 上 幸 子 | 千葉県こども病院 | 井 上 スエ子 | 個人会員用施設 |
| 初 芝 寿 子 | 千葉県こども病院 | 渡 辺 タツ子 | 個人会員用施設 |
| 栗 林 留 美 | 千葉県こども病院 | 石 毛 京 子 | 個人会員用施設 |
| 羽 野 良 子 | 医療法人社団創進会みつわ台総合病院 | 吉 野 万里子 | 個人会員用施設 |
| 佐 藤 千枝子 | 医療法人社団聖仁会白井聖仁会病院 | 山 下 容 子 | 個人会員用施設 |
| 中 村 明 子 | 船橋市立看護専門学校 | 山 下 和 子 | 個人会員用施設 |
| 寺 口 恵 子 | 東邦大学医療センター佐倉病院 | 佐 藤 恵 子 | 個人会員用施設 |
| 佐 藤 かず子 | 医療法人社団庄和会神崎クリニック | 吉 田 好 子 | 個人会員用施設 |
| 表 芳 美 | 医療法人社団庄和会神崎クリニック | 古 谷 佳由理 | 個人会員用施設 |
| 小 林 美代子 | 医療法人社団慶勝会赤門整形外科内科 | 橋 本 恵 美 | 個人会員用施設 |
| 伊 藤 弘 子 | 医療法人社団慶勝会赤門整形外科内科 | 根 本 恵 子 | 個人会員用施設 |
| 小 林 あゆみ | 松戸市立福祉医療センター東松戸病院 | 高 山 早 苗 | 個人会員用施設 |
| 藤 野 慶 子 | 公益財団法人柏市医療公社柏市立柏病院 | 高 野 裕美子 | 個人会員用施設 |
| 三 好 律 子 | 公益財団法人千葉県保健医療事業団 | 鮎 川 京 子 | 個人会員用施設 |
| 三 上 良 子 | 国保旭中央病院 介護老人保健施設シルバークアセンター | 宮 本 奈津子 | 個人会員用施設 |
| 山 中 真 弓 | 千葉県立野田看護専門学校 | 飯 塚 みどり | 個人会員用施設 |
| 今 井 邦 子 | 千葉県立野田看護専門学校 | 木 村 由美子 | 個人会員用施設 |
| | | 計 228名 | |

第33回千葉県看護研究学会 優秀演題会長表彰者

| | | | |
|-------|-------|--------------------------|---|
| 最優秀賞 | 青木千栄 | 医療法人社団有相会 最成病院 | 「がん化学療法を受ける患者の看護支援に対する評価と課題 —一般外科病棟で化学療法を受ける患者の看護支援を考える—」 |
| 優 秀 賞 | 金納千夏 | 松戸市立福祉医療センター 東松戸病院 | 「長期人工呼吸器装着患者のQOL向上を目指して —多職種連携の取り組みから—」 |
| | 瀬畑友莉恵 | 社会医療法人社団木下会 千葉西総合病院 | 「ダブルグローブの確立 —ピンホールの発生状況調査を通して感染に対する意識改革を図る—」 |
| | 藍原由記 | 独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター | 「黒酢を用いた唾液分泌の効果 —口腔内乾燥の改善を目指して—」 |

看護職員の表彰

1. 叙勲その他の国の表彰

平成26年度 秋の叙勲

| | | |
|-------|-------|----------------------|
| 瑞宝双光章 | 沖山 洋子 | (医)梨香会 秋元病院 看護部師長 |
| | 武藤 久子 | 元(医)静和会 浅井病院 看護部長 |
| 瑞宝单光章 | 笹本喜美江 | 元千葉大学医学部附属病院看護部 看護師長 |

平成27年度 春の叙勲

| | | |
|-------|-------|-------------------------|
| 瑞宝双光章 | 梅田 睦子 | 元(独)国立病院機構千葉医療センター 看護部長 |
| 瑞宝单光章 | 久我 愛子 | 元塩田病院看護科長 |
| | 藤部なおみ | 元千葉大学医学部附属病院 看護師長 |

厚生労働大臣表彰

平成26年度公衆衛生事業功労者表彰

| | |
|-------|--------------|
| 澤田いつ子 | 千葉県看護協会 専務理事 |
|-------|--------------|

2. 平成27年度千葉県看護功労者知事表彰

| | | |
|-----|-------|--|
| 看護師 | 石原 照子 | (地独)東金九十九里地域医療センター東千葉メディカルセンター |
| 看護師 | 泉山 明美 | (医)友康会 訪問看護ステーションゆうこう |
| 看護師 | 伊藤かづ子 | (独)地域医療機能推進機構千葉病院附属介護老人保健施設、千葉社会保険居宅介護支援センター |
| 看護師 | 遠藤みさを | 日本医科大学千葉北総病院 |
| 看護師 | 加藤 早苗 | (医)積仁会 島田総合病院 |
| 看護師 | 小暮 美子 | 国保小見川総合病院兼居宅介護支援事業所 |
| 看護師 | 齊藤みち子 | 国保直営総合病院 君津中央病院 |
| 看護師 | 齋藤 洋子 | 国保松戸市立病院 |
| 看護師 | 濱石ミチ子 | (医)誠高会 おおたかの森病院 |
| 保健師 | 藪田 京子 | 元市川市総務部男女共同参画課 |
| 看護師 | 山口由美子 | 元(独)国立病院機構下総精神医療センター |
| 看護師 | 渡邊 零子 | (社福)ミッドナイトミッションのぞみ会 望みの門訪問看護ステーション |

3. 平成27年度日本看護協会会長表彰

| | |
|-------|-------------------|
| 星野恵美子 | (公社)千葉県看護協会 |
| 福留 浩子 | (公社)千葉県看護協会 |
| 橋野 恭子 | (公社)千葉県看護協会 |
| 伊藤 恵美 | (公財)日産厚生会 佐倉厚生園病院 |
| 石井久美子 | (医社)協友会 柏厚生総合病院 |

(以上、敬称略。現会員のみを記載。)

平成26年度 事業の実施状況

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

看護職員の資質向上に関する事項

1. 生涯教育

(1)生涯教育の実施状況(平成26年度生涯教育研修参加状況表参照)

今年度、当初計画した研修は55コースであったが、新規研修として2コースを追加、1コースが未実施であったため合計で56コースとなった。新規追加研修の一つは、診療報酬に関わる精神科訪問看護研修で会員の要望にて、トピックス研修的位置づけとして実施した。研修回数83回、研修総日数341日、受講者実数 7,512名であった。

教育計画の 카테고리別実施状況の内訳は 以下のとおりである。

- ①資格認定教育 7コース 10回 126日 616名
- ・認定看護管理者制度教育課程 (内訳)
 - ファーストレベル教育課程 1コース 1回 28日 95名
 - セカンドレベル教育課程 1コース 1回 37日 30名
 - ・医療安全管理者養成研修 1コース 1回 7日 91名
 - ・心肺蘇生法トレーニングコース (B L S) 1コース 4回 4日 219名
 - ・実習指導者講習会 1コース 1回 44日 64名
 - ・訪問看護師養成講習会 (再掲) (1コース 1回 3日 44名)
 - ・精神科訪問看護研修 1コース 1回 3日 73名
- 精神科訪問看護基本療養費算定要件を満たす研修—
- ②ステップアップ教育 24コース 41回 168日 4,128名
- (内訳)
- ・段階別研修(新人、2年目、中堅、管理者等) 12コース 28回 85日 3,206名
 - ・領域別研修(感染、災害、がん、認知症等) 12コース 13回 83日 922名
 - 追加研修 1コース 1日 21名
 - ・精神・身体疾患併発患者診療機能支援事業フォローアップ研修 (平成25年度精神身体疾患併発患者診療機能支援事業研修会修了者)
- ③看護実践教育 25コース 32回 47日 2,768名
- ・介護職員等対象の喀痰吸引等に関する指導者研修 (再掲) 1コース1回 2日 33名
- ④今年度の千葉県委託研修(再掲)は12研修14コース実施。新規に研修開催したものは以下の7研修である。
- ア 新人看護職員研修 (看護師・助産師・実地指導者、研修責任者・教育担当者研修) イ中堅看護職員スキルアップ研修
 - イ 自殺予防対策人材育成研修
 - ウ 退院支援研修 (訪問看護推進事業)
 - エ 実習指導者講習会
 - オ 介護職員等対象の喀痰吸引等に関する指導者研修

(2)まとめ

定員に対して特に応募の多かった研修は「A H A心肺蘇生法トレーニング、職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント、うつ傾向にある患者への関わり方、退院支援研修、新人助産師研修、フレッシュセミナー、2年目ナースのためのチームメンバーに求められるマンバシップ等」であった。

多様な看護教育の中で十分な実習を受けられない状況もあり、新人看護職が入職後の研修に求める期待は大きなものがあると感じた。

併せて、新人を育成する立場にある主任を対象にした研修も定員以上の応募があったことから、各施設だけではなく協会としても現任教育を担う一端があると思われた。

また、退院支援研修には、定員の約2倍近くの応募があったことから、2025年問題、地域包括ケア等を見据え、他職種との連携を組み込んだ看護実践に活用できる研修企画を検討し、会員のニーズに答えていく必要性があると考えた。

今後も医療体制の変化や看護情勢を把握して、ニーズの高い研修の選定・企画をすること、学習スペースの確保・文献等の情報提供の充実、日数と講師数の調整などの学習環境の整備が求められる。